

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

使用教科書：（大修館書店『新編 言語文化』）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書 読					
I 単元名：漢文に親しむ 【知識及び技能】 (2) ア 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) オ 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。(以下、同)	○指導事項 ・漢文の訓読のきまりについて指導する。 ○学習材 「訓読のきまり」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成	○	【古典】	【知識・技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。(B(1)オ) 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文に興味を持ち、意欲的に漢文を読む学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
II 単元名：漢文を読む 【知識及び技能】 (2) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) ア 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・「蛇足」という言葉の意味について、考えられるよう指導する。 ○学習材 「蛇足」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		【古典】	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。(B(1)ア) 【主体的に学習に取り組む態度】 故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	○	○	○	11
1 学 期 定期考査					○	○	○	1
III 単元名：物語に親しむ 【知識及び技能】 (1) エ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) ウ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の人間関係や心理を考えるよう指導する。 ○学習材 「みずかまきり」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		【近代以降】	【知識・技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)エ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。(B(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
IV 単元名：本を紹介する 【知識及び技能】 (2) カ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) エ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・登場人物の描写から人物像を捉えるよう指導する。 ○学習材 「とんかつ」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		【近代以降】	【知識・技能】 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。(2)カ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(B(1)エ) 【主体的に学習に取り組む態度】 文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	11
定期考査					○	○	○	1
V 単元名：平和を考える 【知識及び技能】 (1) ウ 【思考力、判断力、表現力等】 A (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・文章を踏まえた自分の思いや考えを書けるよう指導する。 ○学習材 「コルベ神父」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成	○		【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 時代背景や歴史的変遷に興味を持ち、筆者の考	○	○	○	10

2学期

<p>VI          単元名：物語を要約する  <b>【知識及び技能】</b>          (1) イ  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          A (1) ア  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          (同上)</p>	<p>○指導事項          ・表現の仕方に着目しながら、要約できるよう指導する。          ○学習材          「祖母が笑うということ」          ○一人1台端末の活用について          ・リフレクションシートの作成</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】          常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ  <b>【思考・判断・表現】</b>          「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          作品に興味を持ち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わいながら、要約文を書こうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>11</p>
<p>定期考査</p>		<p>○</p>		<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>
<p>VII          単元名：古文に親しむ  <b>【知識及び技能】</b>          (2) イ  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          B (1) ウ  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          (同上)</p>	<p>○指導事項          ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて指導する。          ○学習材          「古文の言葉と仮名遣い」          ○一人1台端末の活用について          ・リフレクションシートの作成</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】          古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。(2)イ  <b>【思考・判断・表現】</b>          「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。(B(1)ウ)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>VIII          単元名：古文を楽しむ  <b>【知識及び技能】</b>          (2) ウ  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          B (1) イ  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          (同上)</p>	<p>○指導事項          ・事件の展開と、登場人物の行動について指導する。          ○学習材          「阿蘇の史、盗人に会ひてのがるること」          ○一人1台端末の活用について          ・リフレクションシートの作成</p>	<p>○</p>	<p>【知識・技能】          古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。(2)ウ)  <b>【思考・判断・表現】</b>          「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ)  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>11</p>

					動を読み取ろうとしている。						
	定期考査			○				○	○	○	1
3 学 期	IX 単元名：伝統文化に親しむ 【知識及び技能】 (1) オ 【思考力、判断力、表現力等】 B (1) イ 【学びに向かう力、人間性等】 (同上)	○指導事項 ・それぞれの作品に描かれている情景や心情について指導する。 ・受け継がれてきた伝統的な遊びについて体感する。 ○学習材 「詩歌の調べ」 「いろはカルタの世界」 ○一人1台端末の活用について ・リフレクションシートの作成		○	【知識・技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法について理解している。(1)オ 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 四季の詩歌を読むことに興味をもち、詩の形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。			○	○	○	12
	定期考査			○				○	○	○	1
合計											
105											

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 A組

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語』）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
  - 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書 読						
1 学 期	A 単元 読む「まだ知らない自分に出会う」 【知識及び技能】 ・常用漢字を理解し、文や文章の中で使う。 ・語句や語彙の量を増やし、話や文章の中で使う。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理尾展開について、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 対話のコミュニケーションの意味を理解し、対話による「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合う。	・指導事項 ・対話についての考え方に注意しながら、本文を通読する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・筆者の考える読書が、どのようなものであるかを理解する。 ・本文の論旨をもとに「まだ知らない自分に出会う」機会について読み取り、まとめる。	○		【知識・技能】 ・常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会に必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法や表記の仕方を理解し、語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで対話をもつコミュニケーションの意味を理解し、対話によって「まだ知らない自分」に出会った経験を話し合おうとしている。	○	○	○	10
	B 単元 話す・聞く「分かりやすい説明をする」 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を踏まえ、表現や言葉遣いを理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、話の構成や展開を工夫して話す。	・指導事項 ・夏休みをどのように過ごしたかの説明A,Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。 ・「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。 ・自分の学校の行事を説明するという設定で、「リストアップ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。 ・課題の中から一つを選び、これまで学習した点順にしたがって、課題に即したロールプレイを行う。	○		【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1
C 単元「水の東西」 【知識及び技能】 ・常用漢字を書き、文章の中で使う。 ・文章の組み立て方や接続の仕方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・内容を解釈、文章の構成や論理の展開を評価し、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 東西文化の理解を深め、自分の興味や関心を他者に伝える。	・指導事項 ・「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読する。 ・「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。 ・「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。 ・日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」と「噴水」の水に対するとらえ方の違いを理解する。 ・水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿ってとらえ、日本人の感性			【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において目的に応じて、文章や図表などに含まれる情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】					

	<p>の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考への扉」を通読する。</li> <li>・日本文化について興味や関心をもったことを、二分間程度でスピーチする。</li> </ul>			<p>比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査					○	○		1
D 単元「新聞記事をもとに問いを作り意見をまとめる」	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・実社会で適切な題材を決め、情報を吟味して伝えたいことを明確にする。</li> <li>・読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合う。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを読み、活動のポイントの見通しをもつ。</li> <li>・グループごとに複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。</li> <li>新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。</li> <li>・QFTによる七段階からなる問づくりの方法を確認するとともに、問いの焦点を定め、問づくりのルールを確認する。</li> <li>・グループごとに、記事情報カードをもとに、QFTによる問いを作る。</li> <li>・問いに優先順位をつけて、最終的に一つに絞り、選ぶ理由をグループ内で話し合う。</li> <li>・記事情報カードを活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。</li> <li>・意見をまとめるという活動をするうえで、QFTの1～6の各プロセスでは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。</li> </ul>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</li> <li>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10









年間授業計画様式例

豊島高等学校 令和6年度 教科国語 科目現代文B 年間授業計画

教科：国語 科目：現代文B 単位数：3単位

対象学年組：第4学年A組

使用教科書：(大修館書店『新編 現代文B』)

使用教材：( )

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○段落構成について指導する。 ○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。 ○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己分析をする。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認 ○記述の点検(ノート)</p>	5

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>「迷う」力のすばらしさ</p> <p>○自分自身のことを内省するよう指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解する。</p> <p>○自分の進路を考える。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己PRを作成する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>就職活動ワークシート</p> <p>○キャリア教育の視点から書く力, 話す・聞く力を総合的に指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○社会に必要な書く力, 話す・聞く力を身に付ける。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○自己PRを作成する。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(課題)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<p>就職活動ワークシート</p> <p>○キャリア教育の視点から書く力, 話す・聞く力を総合的に指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○社会に必要な書く力, 話す・聞く力を身に付ける。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○模擬面接をする。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(課題)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○本文の読解をする。 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>言葉は変わるもの、されど伝承すべきもの ○公な場での言葉遣いについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○公な場での言葉遣いについて考える。</p> <p>【言語活動】 ○敬語について学び、実の場を設定し使ってみる。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題、スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート、記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析 ○記述の分析(ノート、リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>山月記</p> <p>○物語の内容を分かりやすく伝える。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○物語に親しむとともに楽しむ。</p> <p>○漢文訓読調の文に慣れる。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○要約文を書く。</p> <p>○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>山月記</p> <p>○要約文を書くためのコツ等を指導する。</p> <p>(帯単元)</p> <p>○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】</p> <p>○内容を理解した上で、要約文を書く。</p> <p>【言語活動】</p> <p>○要約文を書く。</p> <p>○感想文を書く。</p>	<p>【評価の観点】</p> <p>○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等</p> <p>○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等</p> <p>○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】</p> <p>○行動の確認</p> <p>○記述の分析(ノート, リフレクションシート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<p>和歌(散文) ○和歌のきまりについて指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○散文, 特に和歌に親しむ。</p> <p>【言語活動】 ○和歌を用いたあそびを实践する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト, 教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題, スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート, 記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の分析</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<p>卒業文集 ○卒業文集を作成するよう、指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○卒業に向けて、自分の学校生活を振り返る。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題、スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート、記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の点検(ノート)</p>	10

	指導内容	科目現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	<p>卒業文集 ○卒業文集を作成するよう、指導する。</p> <p>(帯単元) ○漢字の読み・書き(JLPT/N3)の小テスト</p>	<p>【指導目標】 ○卒業に向けて、自分の学校生活を振り返る。</p> <p>【言語活動】 ○テーマに沿った散文を創作する。</p>	<p>【評価の観点】 ○【知識・技能】小テスト、教科書教材の内容等 ○【思考・判断・表現】記述問題、スライド作成等 ○【主体的に学習に取り組む態度】リフレクションシート、記述問題に対する自己評価等</p> <p>【評価の方法】 ○行動の観察 ○記述の分析(ノート、リフレクションシート)</p>	10

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年

使用教科書：（『高等学校 公共』（帝国書院））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
[なぜ「公共」を学ぶのか] 【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現する。	・指導項目 オリエンテーション（1年間の授業の進め方について、公共を学ぶ理由についてなど） ・使用教材 教科書、授業プリント 一人1台端末 使用方法やルールについて確認	【思考力、判断力、表現力等】 ・科目の特性や学ぶ意義などについて考察し、表現している。		○		1
[社会の中の私たち] 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導項目 1 現代の社会 2 青年期の課題 3 ジェンダーについて 4 学ぶことの意義 5 社会参画とキャリア 6 宗教について考える 7 日本の思想と伝統文化 ・使用教材 教科書、授業プリント ・一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用	【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、人間としての在り方生き方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>【思想から学ぶべきもの】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導項目</li> <ol style="list-style-type: none"> <li>古代ギリシアの思想</li> <li>古代中国の思想</li> <li>近代西洋の思想</li> <li>現代の思想</li> </ol> <li>使用教材 教科書、授業プリント</li> <li>一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを理解するとともに、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることなどを通して、自らの価値観を形成し、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用しながら、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間を作る私たち、公共的な空間における人間としての在り方生き方などを視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>【私たちの社会の基本原理解】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導項目</li> <ol style="list-style-type: none"> <li>近代立憲主義の原理とその広がり</li> <li>日本国憲法</li> <li>平等に生きる権利</li> <li>自由に生きる権利</li> <li>人間らしく生きる権利</li> <li>広がる人権の考え方</li> <li>人権保障の国際的広がり</li> </ol> <li>使用教材 教科書、授業プリント</li> <li>一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と権利、責任と義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間における基本的原理について、概念的な枠組みなどを用いて考察する活動を通して、個人と社会の関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共的な空間における基本的原理について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9
定期考査				○	○		1
	<p>【私たちと法】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導項目</li> <ol style="list-style-type: none"> <li>社会規範と法</li> <li>私たちの生活と法</li> <li>契約の考え方</li> <li>消費者の権利と責任</li> <li>司法の役割</li> <li>刑事裁判とその課題</li> </ol> <li>使用教材 教科書、授業プリント</li> <li>一人一台端末 諸資料の検索やまとめに使用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて意見や利害を公平かつ公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序や形成、維持されていくことについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6

	<p>〔私たちと政治-民主社会と政治参加-〕  <b>【知識及び技能】</b>          ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目          1 政治と権力          2 議院内閣制と国会          3 権力分立と行政の役割          4 地方自治の役割          5 政党政治とメディア          6 選挙制度とその課題</p> <p>・使用教材          教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末          諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>          ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査				○	○		1
	<p>〔私たちと政治-国際政治の動向と平和の追求-〕  <b>【知識及び技能】</b>          ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現する。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導項目          1 国家と国際法          2 日本の主権と領土          3 平和主義と日本の防衛政策          4 日本の安全保障          5 国際連合の役割          6 紛争とテロリズム          7 核兵器と軍縮の課題          8 国際協力と日本の役割</p> <p>・使用教材          教科書、授業プリント</p> <p>・一人一台端末          諸資料の検索やまとめに使用</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>          ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治、国家主権、領土、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題について理解している。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          ・法や政治及び経済などの側面を踏まえながら主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に、協働して考察したり構想したりしたことを表現している。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8



高等学校 令和6年度（2学年） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年

使用教科書：（『わたしたちの地理総合』（二宮書店） 『コンパクト地理総合地図』（二宮書店））

- 教科 地理歴史 の目標：
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについて自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>地図でとらえる現代世界</p> <p>【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど</li> <li>教材 教科書・地図帳</li> <li>一人1台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム（GIS）の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>結び付きを深める現代世界</p> <p>【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など</li> <li>教材 教科書・地図帳・資料集</li> <li>一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解することができている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
中間調査						1
<p>1学期</p> <p>世界の地形と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など</li> <li>教材 教科書・地図帳・資料集</li> <li>一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

どについて理解している。

**【思考力、判断力、表現力等】**

世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。

**【学びに向かう力、人間性等】**

地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。

世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。

**【主体的に学習に取り組む態度】**

地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。

○

○

○

9

	<p>世界の気候と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化（衣食住）の関係性、モンスーンなど</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>期末考査</p>						1
2 学 期	<p>世界の言語・宗教、歴史と結びついた人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・文化、言語、民族、宗教、資源、経済発展、産業など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が社会集団における文化的要素から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる文化圏の特徴や宗教との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 文化的な社会集団間で生じる紛争等の課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>中間考査</p>						1
	<p>世界の産業と人々の生活</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	<p>・農業、工業（アメリカ、中国、韓国、ヨーロッパ）など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、地域の産業が気候や文化的特徴から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、グローバル化に伴って変容することなどについて理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域の産業について主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域の産業の発展とそれに伴って生じる課題に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>期末考査</p>						1	
	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて理解できている。</p>	<p>・地球的課題（環境問題、エネルギー問題、人口問題、経済格差、食料問題、都市・村落問題）など</p> <p>・教材 教科書・地図帳・資料集</p> <p>・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用</p>	<p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

<p>いて大観し理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b>          世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>
---

<p>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b>          地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
---	---	---	---	----

○ 学 期	<p>持続可能な地域づくりと私たち</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と自然災害、防災など</li> <li>・教材 教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 地理院地図・Google Earth等を適宜利用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解できている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8	
								合計
								70

**豊島高等学校定時制 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合**

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組

使用教科書：（「私たちの歴史総合」（35・清水・歴総705））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 歴史に関わる事象の意味や特色、相互の関連を、概念等を活用して考察したり、考察、構想したことを説明できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 日本と世界の歴史をもとに、スポーツや「終戦」の観点から、資料をもとに叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料から読み取った情報の意味や意義・特色等を考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各テーマについて、主体的に追及する。</p>	<p>・指導項目</p> <p>1 歴史と私たち 日本とスポーツの歴史</p> <p>2 歴史の特質と資料 8月15日とそれぞれの「終戦」</p>	<p>【知識・技能】 日本と世界の歴史をもとに、スポーツや「終戦」の観点から、資料をもとに叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料から読み取った情報の意味や意義・特色等を考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各テーマについて、主体的に追及している。</p>	○	○	○	4
<p>【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目</p> <p>1 近世の日本と世界</p> <p>2 18世紀の中国とアジア貿易</p> <p>3 18世紀のイギリスとアジア、アフリカ</p>	<p>【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目</p> <p>1 産業革命による経済発展と社会の変化</p> <p>2 世界市場の形成とイギリスによるアジア進出</p> <p>3 日本の開国とその影響</p>	<p>【知識・技能】 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				10
定期考査			○	○		1
1学期	<p>【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p>	<p>・指導項目</p> <p>1 二つの市民革命と近代民主主義社会の設立</p> <p>2 国民統合とナショナリズム</p> <p>3 明治維新期の日本と世界</p> <p>4 近代国家への移行と憲法の制定</p>	<p>【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p>			

	<p>関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>						7
	<p>【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導内容 1 列強による帝国主義 2 帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたもの 3 日清戦争とその影響 4 日露戦争</p>	<p>【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				7
	<p>【知識・技能】 社会インフラ建設をめぐる平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本と清の鉄道建設の比較、鉄道建設に対する清朝政府や中国民衆の反応、現代のアジア諸国のインフラ建設の光と影に着目して、鉄道建設と近代化について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究する。</p>	近代化と現代的な諸課題 鉄道建設	<p>【知識・技能】 社会インフラ建設をめぐる平等と格差といった現代的諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本と清の鉄道建設の比較、鉄道建設に対する清朝政府や中国民衆の反応、現代のアジア諸国のインフラ建設の光と影に着目して、鉄道建設と近代化について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鉄道建設と近代化のもたらす現代的な諸課題を主体的に追究しようとしている。</p>				3
	定期考査						1
2 学 期	<p>【知識・技能】 総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦や社会主義革命が大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍縮条約・不戦条約など国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際連盟やその後の国際連合などの国際組織、国際的な軍縮条約や不戦条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 第一次世界大戦 2 社会主義革命 3 国際協調体制 4 アジアの民族運動</p>	<p>【知識・技能】 総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦となった第一次世界大戦の特質・展開や惨禍、第一次世界大戦後の国際協調体制が構築された経緯やその展開の特徴、日本とアジア及び太平洋地域の関係を理解するとともに、諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦や社会主義革命が大戦後の世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、大戦後の日本とアジア及び太平洋地域の関係の変化や軍縮条約・不戦条約など国際協調体制の特徴などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際連盟やその後の国際連合などの国際組織、国際的な軍縮条約や不戦条約などの国際法の意義を理解し第一次世界大戦と国際社会に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				13
	<p>【知識・技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達</p>	<p>・指導項目 1 大衆の政治参加 2 女性の社会参加 3 大衆社会の形成</p>	<p>【知識・技能】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達</p>				

<p>政見政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 議会政治に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大量消費社会の功罪、教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>		<p>運など大衆社会の形成と社会運動の広がり理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 議会政治に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大量消費社会の功罪、教育の重要性や世論形成におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺と崩壊、国際秩序の変容につながった当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p> <p>また情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 世界恐慌 2 ファシズムの台頭 3 日本の大陸進出 4 第二次世界大戦</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動揺と崩壊、国際秩序の変容につながった当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p> <p>また情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題との関わりを主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>【知識・技能】 アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復など、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解し、それらに関する諸資料を活用する。</p> <p>【思考・判断・表現】 アジア太平洋戦争の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響、福祉面での国家の積極的な介入の方向性などの連続性などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較、相互に関連付けたりするなど、第二次世界大戦の性格と惨禍、社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響と平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、国際社会の一員として、過去の日本とアジア諸国との関係を認識し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導項目 1 アジア太平洋戦争 2 戦争が変えた人々の暮らし 3 戦後世界の新たな枠組み 4 敗戦後の日本とアジア 5 冷戦下の東アジア</p>	<p>【知識・技能】 アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。</p> <p>【思考・判断・表現】 アジア太平洋戦争の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響、福祉面での国家の積極的な介入の方向性などの連続性などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響と平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、国際社会の一員として、過去の日本とアジア諸国との関係を認識し、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>また国民生活に対する国家の関わりについて主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8

	に追究しようとしている。 また国民生活に対する国家の関わりについて主体的に追究する。						
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。 【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導項目 1 脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 2 冷戦下の地域紛争 3 先進国の政治と社会運動 4 核兵器の脅威と核軍縮</p>	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				10
	<p>【知識・技能】 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用する。 【思考・判断・表現】 民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p>	<p>・指導項目 1 石油危機と価値観の転換 2 アジアの成長 3 冷戦の終結 4 冷戦終結後の紛争と平和への取り組み</p>	<p>【知識・技能】 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 【思考・判断・表現】 民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>				10
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

年間授業計画様式例

豊島高等学校定時制 令和6年度 教科公民科 科目政治・経済 年間授業計画

教科：公民科 目：政治・経済 単位数：2単位

対象学年組：第4学年A組

使用教科書：（高等学校 新政治・経済 清水書院 ）

使用教材：（教科書・補助プリント）

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	1年間の授業の流れ、評価方法を説明する。		1
	人間と政治	人間と政治・法のかかわりについて理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	2
	民主政治の基本原則	民主政治の基本的な考え方・思想について理解する。		2

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	日本国憲法と基本的人権	日本国憲法について、権利と義務などを理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価    定期テスト素点 プリント等回収物	3
	日本の平和主義と安全保障	現代日本の政治について、日本の政治機構をふまえたうえで理解する。		2
	中間考査前復習	流れがわかりにくい箇所などを復習する。		1
	中間考査前	生徒の学力に合っているか確認する。		1
	中間考査後まとめ	誤答が多い箇所を中心に復習する。		1

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	日本の政治機構	内閣・国会・裁判所の在り方について理解する	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	3
	現代日本の政治	現代の日本の政治について理解する。		2
	国際政治と日本	国際政治の形成から現代の国際政治を理解する。		3
	経済社会の変容と経済思想	経済と思想の歴史について理解する。		3
	三つの経済主体と経済の循環	3つの経済主体について考察する。 経済循環の仕組みと市場について理解する。		3

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力に合っているか確認する。</li> </ul>	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	期末考査後のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤答が多い箇所を中心に復習する。</li> </ul>		1

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	価格と市場の役割	需要と供給について考察する。 経済循環の仕組みと市場について理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	3
	現代の企業 物価変動と国民生活	株式会社の仕組みについて理解する。 デフレとインフレについて考察する。		2
	経済成長と景気変動	国内総生産や国民総生産といった経済指標について理解する。 景気循環の4局面について理解する。		3
	政府の経済的役割	財政の仕組みと機能について理解する。		3

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	租税と国債 日本財政の課題	租税の在り方や国債について考察する。 現代日本の経済状況について理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	3
	中間考査前復習	流れがわかりにくい箇所などを復習する。		1
	中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習する。		1
	貨幣の役割と金融	貨幣の役割と種類について理解する。 金融とは何かを理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	3

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	金融市場と金融政策 金融環境の変化	金融市場の仕組みについて理解する。 金融の自由化について理解する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	3
	公害・環境問題 消費者問題	公害問題の推移と現代の環境問題について理解する。 消費者問題と消費者政策について考察する。		2
	労働者の権利と労働組合の役割 労働市場の変化と労働問題	労働三法や労働組合について理解する。 今日の労働問題について考察する。		2
	社会保障制度のあゆみ 社会保障制度の課題	世界と日本の社会保障制度のあゆみについて理解する。 社会保障制度の概要と課題について理解する。		3
	戦後の国際経済	第二次世界大戦後の国際経済について理解する。		2

指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12月 期末考査前総復習	流れがわかりにくい箇所などを復習する。		1
12月 期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
12月 期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習する。		1

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	現代政治・経済の諸課題	これまで学習してきた公民科の内容を踏まえながら、現代日本の諸課題や国際社会の中から探求するテーマを選択する。	発問・プリント記述だけではなく、授業態度などで総合的に評価	1
	現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	日本や世界の諸課題の解決に向けて私たちができることは何かを考察し、レポート等にまとめる。	レポート等提出物	4

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1

	指導内容	科目政治・経済の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

豊島高等学校定時制 令和6年度 教科地理歴史 科目地理A 年間授業計画

教科： 地理歴史 科目： 地理A 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年A組

使用教科書： ( 高校生の地理A 帝国書院 )

使用教材： ( 教科書、地図帳、学習プリント、ICT機器)

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	地理Aオリエンテーション	1年間の授業のコンセプトを説明する。		1
	旅を身近にする地図ー地球儀と地図ー	地球儀の見方や使い方、読み取れる情報等を理解する。 様々な図法とその利用方法を考察する。 地形図や地図記号を用いながら中学校段階の復習をする。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3

指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5月 ほかの国に入るといことは—国家— 日本の領域と領土問題	国家の3要素や領域の考え方について理解する。 日本の領域と領土問題について考察する。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評 価。	3
日本の地形 日本の気候	日本の地形における特徴を地図等から考察する。 日本の気候の特色を考察する。		3
中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	躍動する地形 川がつくる地形	造山帯やプレートテクトニクスについて理解する。 沖積平野の構造について理解する。		3
	海岸でみられる地形 氷河地形・カルスト地形	砂浜海岸と岩石海岸の構造について理解する。 氷河の形成過程やカルスト地形について理解する。		3
	地域による気候の違い 熱帯の気候と人々の生活	ケッペンの気候区分を理解する。 熱帯地域の特徴を多面的に考察する。		4
	乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	乾燥帯地域の特徴を多面的に考察する。 温帯地域の特徴を多面的に考察する。 亜寒帯・寒帯地域の特徴を多面的に考察する。		4
	宗教・言語と人々の生活 生活・文化のグローバル化	宗教と生活の結び付きについて考察する。 生活や文化のグローバル化について理解する。		2

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う		1

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	世界の諸地域の生活・文化－東アジア－	東アジア諸国における自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
	世界の諸地域の生活・文化－東南アジア－	東南アジア諸国における、自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
	世界の諸地域の生活・文化－南アジア－	南アジア諸国における自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3
	世界の諸地域の生活・文化－中央アジア・西アジア・北アフリカ－	中央アジア・西アジア・北アフリカ諸国における、自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	世界の諸地域の生活・文化ーサハラ以南のアフリカー	サハラ以南のアフリカ諸国における、自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	2
	中間考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	中間考査	生徒の学力に合っているか確認する。		1
	中間考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1
	世界の諸地域の生活・文化ーヨーロッパ	ヨーロッパ諸国における、自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		3

指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
世界の諸地域の生活・文化ーロシアー	ロシアにおける、自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。	発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。	3
世界の諸地域の生活・文化ーアメリカ合衆国ー	アメリカ合衆国における自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
世界の諸地域の生活・文化ーラテンアメリカー	ラテンアメリカ諸国における自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
世界の諸地域の生活・文化ーオセアニアー	オセアニア諸国における自然・文化・歴史・社会（産業・農業・工業等含む）・生活を理解し、相違点や課題を見出したり日本との比較をしたりしながら考察を深める。		2
GISを用いた地図表現	GISやGNSSの仕組みや利用方法を理解する。 GISを実際に活用してみる。		1

11  
月

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	期末考査前総復習	流れがつかみにくい箇所を丁寧に復習する。		1
	期末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1
	期末考査後のまとめ	誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
1 月	<p>地球規模で広がる課題</p> <p>地球的課題の解決に向けて</p>	<p>これまで学習してきた世界の諸地域の内容を踏まえながら、世界の人口問題、食料問題、都市・住居問題、資源・エネルギー問題、環境問題等を改めて確認する。</p> <p>SDGsの観点も踏まえながら、地球的課題の解決に向けて私たちができることは何かを考察し、レポート等にまとめる。</p>	<p>発問・プリント記述だけでなく 授業態度などで総合的に評価。</p>	<p>1</p> <p>4</p>

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査	生徒の学力に合っているか確認する。	定期テスト素点 プリント等回収物	1

	指導内容	科目地理Aの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年

使用教科書：（ 高校数学 I （実教出版） ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。	1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開 6. 因数分解	【知技】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 【思判表】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	15
	定期考査						1
	・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。 ・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。	2節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	【知技】 ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 【思判表】 ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 【主】 ・ $\sqrt{\quad}$ を含む式の計算に関心をもち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心をもち、調べようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の解の意味・不等式の性質について理解し、1次不等式が解けるようにする。</li> </ul>	<b>3節 方程式と不等式</b> 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式 6. 不等式の応用	<b>【知技】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の解の意味や不等式の性質が理解できる。</li> <li>1次不等式や連立不等式を解くことができる。</li> </ul> <b>【思判表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>不等号の性質を、数直線を用いて考察できる。</li> <li>日常の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。</li> </ul> <b>【主】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量関係を不等式で表すことのよさが分かる。</li> <li>1次方程式の解き方と関連づけて1次不等式を考えようとしている。</li> <li>具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	16
	定期考査						1
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合に関する基本的な概念を理解する。</li> <li>命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。</li> </ul>	<b>4章 集合と論証</b> <b>1節 集合と論証</b> 1. 集合と要素 2. 命題 3. いろいろな証明法	<b>【知技】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合に関する基本的な概念を理解できる。</li> <li>2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。</li> <li>命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べることができる。</li> <li>必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。</li> <li>命題の逆や対偶をつくることができる。</li> </ul> <b>【思判表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合と命題の関係を考察できる。</li> <li>対偶などを利用して、簡単な命題を証明することができる。</li> </ul> <b>【主】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。</li> <li>いろいろな文やことがらについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。</li> <li>身の回りの話題から、命題を考察して、必要条件、十分条件、必要十分条件を考えようとしている。</li> <li>いろいろな命題について、ねばり強く証明しようとしていたり、証明の過程をふり返って考えようとしていたりしている。</li> </ul>	○	○	○	22
	定期考査						1
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握したりできるようにする。</li> </ul>	<b>5章 データの分析</b> <b>1節 データの分析</b> 1. 統計とグラフ 2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係 7. 仮説検定の考え	<b>【知技】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。</li> <li>代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や用い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。</li> <li>具体的な事象を通して、仮説検定の考え方を理解できる。</li> </ul> <b>【思判表】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>統計グラフから、どのようなことがわかるか考察できる。</li> <li>データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。</li> <li>具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。</li> <li>仮説検定の考え方をを用いて、身の回りの事象を批判的に考察できる。</li> </ul> <b>【主】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのいろいろな統計グラフから、データの特徴を考えようとしている。</li> <li>身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。</li> <li>身の回りの現象で、正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、調べようとしている。</li> </ul>	○	○	○	26
	定期考査						1
<b>合計</b>							105

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 数学 科目 数学I

教科: 数学

科目: 数学I

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年

使用教科書: ( 高校数学I (実教出版) )

教科 数学

の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、三角比、集合と論証、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・関数の概念について理解し、2次関数のグラフがかけられるようにする。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	【知技】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 【思判表】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、平行移動の考えを用いるなどして多面的に考察できる。 ・コンピュータなどを使って、いろいろな2次関数のグラフをかき、その特徴を調べることができる。 【主】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを調べようとしている。 ・2次関数のグラフについて、中学校で学んだ1次関数のグラフをふり返って考えようとしている。	○	○	○	15
定期考査						1
・2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察し、その最大値や最小値を求められるようにする。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解するとともに、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。	2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	【知技】 ・2次関数の最大値・最小値が理解できる。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解できる。 【思判表】 ・定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・日常の事象について、2次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 【主】 ・具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。 ・1次関数のグラフと1次方程式との関係をふり返って2次関数のグラフと2次方程式との関係を考えようとしている。 ・ $D=b^2-4ac$ の符号を用いて、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式との関係をふり返ってまとめようとしている。	○	○	○	21
定期考査						1

2 学 期	<p>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解するとともに、鋭角の三角比を利用して2地点の標高差や水平距離を求められるようにする。</p>	<p>3章 三角比 1節 三角比 1. 三角形 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係</p>	<p>【知技】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 【思判表】 ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用して残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 【主】 ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査						1
	<p>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。 ・三角比を用いて三角形などの面積を求めたり、空間図形の考察に活用したりできるようにする。</p>	<p>2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角形の面積 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5. 正弦定理と余弦定理の利用</p>	<p>【知技】 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鈍角の三角比を理解できる。 ・面積の公式を用いて三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思判表】 ・座標や鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・余弦定理と三平方の定理との関係を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 【主】 ・三角形の面積<math>=1/2 \times</math>底辺<math>\times</math>高さ をふり返りながら、面積の公式を考えようとしている。 ・いろいろな図形について、正弦定理や余弦定理を用いて考えようとしている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい身の回りの距離などを求めようとしている。</p>	○	○	○	22
定期考査						1	
3 学 期	<p>・本文で学んだ内容を、生活と関連付けたり発展させたりするなどした課題に取り組む。</p>	<p>課題学習 1. 黄金比と<math>\sqrt{\quad}</math>の計算 2. 売り上げ金額の最大値を求めてみよう 3. 角度を変えて斜面を滑ろう 4. 何票とると当選？ 5. カード集めの問題</p>	<p>【知技】 ・各章で学んだ知識・理解を元に、計算などを適切に処理できる。 ・課題で取り組むことがらを理解できる。 【思判表】 ・各章で学んだ内容を活用し、課題を考察できる。 ・課題について自分の考えを表現したり、他者の考えを聞いて判断したりできる。 【主】 ・自ら課題に取り組む、各章で学んだことをふり返りながら考えようとしている。</p>	○	○	○	26
	定期考査						1
合計							105

使用教科書: ( 高校数学A (実教出版) )

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	想	配当 時数	
1 学期	・集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解する	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1. 集合と要素 2. 集合の要素の個数	【知技】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。  【思判表】 ・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。  【主】 ・集合の考え方を利用することに興味を持っている。	○	○	○	10
	定期考査					1	
	・具体的な事象の考察を通して順列の意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 3. 場合の数 4. 順列	【知技】 ・順列の考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。  【思判表】 ・順列の考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。  【主】 ・順列の考え方を利用することに興味を持っている。 ・順列の考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。	○	○	○	13
定期考査						1	
2 学期	・具体的な事象の考察を通して組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 5. 組合せ	【知技】 ・組合せの考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。  【思判表】 ・組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。  【主】 ・組合せの考え方を利用することに興味を持っている。 ・組合せの考え方を利用して、身の回りの事象の場合の数を調べようとしている。	○	○	○	11
	定期考査					1	
	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	2節 確率 1. 事象と確率 2. いろいろな事象の確率 3. 独立な試行とその確率	【知技】 ・確率の基本的な法則を理解できる。 ・組合せを利用して、確率を求めることができる。 ・排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。  【思判表】 ・組合せや集合の考えを利用して、いろいろな事象の確率を考察できる。 ・独立な試行や反復試行の確率について、具体的な事象の確率を考察できる。  【主】 ・確率について興味を持ち、具体的な事象の考察に、確率の考え方を活用しようとしている。	○	○	○	13
定期考査						1	
3 学期	・確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	2節 確率 4. 反復試行とその確率 5. 条件つき確率 6. 期待値	【知技】 ・条件つき確率の意味を理解し確率を求めることができる。 ・期待値の意味を理解し、求めることができる。  【思判表】 ・条件つき確率を利用し具体的な事象の確率を考察できる。 ・期待値を意思決定に活用できる。  【主】 ・実験を通して頻度の割合を求めたりすることで、確率の意味を理解しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査					1	
	合計						70

教科

科目

対象 年 組 ~ 年 組

使用教科書

使用教材

学期	月	指導内容	科目 数学A の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
1 学期	4 月	公倍数と最小公倍数	公倍数や最小公倍数の意味について理解する。	公倍数や最小公倍数を求められるようにする。	5
		公約数と最大公約数	公約数や最大公約数の意味について理解する。	公約数や最大公約数を求められるようにする。	
		2つの整数と最小公倍数、最大公約数	2つの整数について最小公倍数や最大公約数について求められるようにする。	最小公倍数や最大公約数について理解できているか。	
		ユークリッドの互除法	ユークリッドの互除法について理解をする。	比較的大きな整数同士の最大公約数を求める方法ができるようにする。	
	5 月	不定方程式	基本的な2元1次不定方程式を解くことができるようにする。	不定方程式とその解について理解し、不定方程式を解くための基本的な知識を身につけていく。	9
		2進法の仕組みについて	2進法のしくみについて理解できるようにする。	2進数の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	
		2進法から10進法への変換	2進法から10進法へ直す方法について理解できるようにする。	2進数と10進数の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	
		10進法から2進法への変換	10進法から2進法へ直す方法について理解できるようにする。	10進数と2進数の基本的な性質の互換性について、計算力を身につけている。	
	6 月	2進法の足し算	2進法の数同士による簡単な足し算を理解する。	2進数同士の基本的な足し算について、計算力を身につけている。	11
		分数から小数への変換	分数から小数への直し方を理解できるようにする。	・整数の性質を利用して、分数を小数で表すことができる。	
		有限小数	小数で表しきれぬ数について理解できるようにする。	有限小数の概念を数学的に判断できる。	
		循環小数から分数への変換	小数で表しきれぬ数を循環小数という概念で、新たな記号を用いて表しそれを分数に直すことを理解する。	循環小数の意味について理解し、分数への数的計算力を身につけている。	
	7 月	三角形の角	三角形の性質とそれに付随する角度の性質について理解する。	三角形の基本的な性質について数学的概念を身につけている。	2
		三角形と線分の比	線分の比を求めることができるようにする。	線分の基本的な性質について数学的概念を身につけて、計算力を身につけている。	
		中点連結定理	中点連結定理を理解する。	中点が線分と比例することを理解し、比例式を用いた考え方が出来る。	
		復習	問題の学習内容を確認し、定着を図る。	・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。	
					1学期 計27時間

2 学 期	9 月	・円周角	・円周角の定理について理解できるようにする。 ・接線と弦のつくる角を理解し、具体的な問題を解くことができるようにする。	・円周角の定理を用いて、図形の性質を論理的に処理することができる。	9
	1 0 月	2つの円  円と比例	・2つの円がなす位置関係により①外側②外接③2交点をもつ④内接⑤内側といった5つの状態を把握することにより、2つの円の距離を調べることができる。  ・2直線と円によってできる線分の長さの関係を理解し、具体的な問題を解決することができる。	・2つの円の位置関係の性質を 考えることができる。  ・方べきの定理について理解している。	10
	1 1 月	円と四角形  接弦定理	・円に内接する四角形の性質を理解し、具体的な問題を解決することができる。  円に接する接線と弦とのなす角が、内部にできる円周角と等しいことを理解できる。	・円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接するための条件を用いて、図形の性質を  円と接線とのあいだの角と円周角を見極める数的判断について処理することができる。	11
	1 2 月	問題演習	・章末問題の学習内容を確認し、定着を図る。	・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。	3  2学期 計33時間

3 学 期	1 月	<p>空間における直線と平面</p> <p>多面体</p>	<p>平面の決定, 2つの平面の位置関係, 直線と平面の位置関係, 2つの直線の位置関係について理解することができる。</p> <p>各々の多面体を模型や折り紙等で作成することにより、多面体や正多面体の形状や性質について理解することができる。</p>	<p>空間における直線と平面の位置関係について理解している。</p> <p>立方体や直方体などについて、直線と平面の位置関係などを求めることができる。</p> <p>多面体の性質から頂点の数などを求めることができる。</p>	8
	2 月	<p>問題演習</p>	<p>・章末問題の学習内容を確認し、定着を図る。</p>	<p>・出席、授業への取り組み、定期考査、提出物を総合的に判断し、評価。</p>	2
	3 月				3学期 計10時間

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 A組～

使用教科書：（東京書籍 科学と人間生活）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、身の周りの科学現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	科学現象に主体的に関わり、探究しようとする態度と、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元「光の性質とその利用」 【知識及び技能】 ○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解する。 ○電磁波の基本的な性質と危険性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉える。 ○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出す。 【学びに向かう力、人間性等】 ○光が波の性質を持つことと光の法則性と日常生活を関連付ける。 ○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法に関心を持ち実施する。	○指導事項 1 光の進み方と見え方 2 光の波としての性質 3 さまざまなスペクトル 4 光の三原色と色 5 電磁波の利用 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○光の反射、屈折、回折、干渉、偏光について理解している。 ○電磁波の基本的な性質と危険性について理解している。 【思考・判断・表現】 ○光が波の性質をもつことから、身の周りの現象を捉えることができる。 ○身の周り機器で電磁波がどのように利用されているか見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○光が波の性質を持つことや光の法則性と日常生活を関連付けている。 ○電磁波を効率的かつ安全に扱う方法について関心を持ち、実施しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	単元「熱の性質」 【知識及び技能】 ○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解する。 ○熱容量、比熱、熱量の保存について理解する。 ○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解する。 ○化学エネルギー電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○熱平衡について理解し熱量保存の法則を定量的に考えられる。 ○身の周りで熱の伝わりがどう利用されているか見出せる。 ○仕事は熱エネルギーに変換されることを定量的に表現する。 ○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求める。 【学びに向かう力、人間性等】 ○熱の移動について日常生活と関連付ける。 ○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つ。 ○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出す。	○指導事項 1 原子や分子の熱運動 2 熱容量と比熱 3 熱の伝わり方 4 力学的エネルギーと熱エネルギー 5 エネルギーの変換 6 エネルギーの有効利用 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等	【知識・技能】 ○原子や分子の熱運動と温度の関係について理解している。 ○熱容量、比熱、熱量の保存について理解している。 ○力学的エネルギーから熱エネルギー変換を理解している。 ○化学エネルギーや電気エネルギーが熱エネルギーに変換されることを定性的に理解している。 【思考・判断・表現】 ○熱平衡について理解し、熱量保存の法則を定量的に考えることができる。 ○身の周りで熱の伝わりがどのように利用されているか見出すことができる。 ○仕事は熱エネルギーに変換されることを定量的に表現している。 ○身の周りの生活で見られる消費電力や熱効率について求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○熱の移動について日常と関連付けている。 ○熱容量の知識が日常生活に活用されていることに関心を持つ。 ○エネルギーが形を変えて保存されていることに関心を持ち、現代科学とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	13

	定期考査			○	○		1
	<p>単元「物質の科学～材料～」 【知識及び技能】 ○金属の一般的な性質や金属結合について理解する。 ○プラスチックの構成粒子である原子や共有結合を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○金属の性質の違いから、用途や利用方法について判断する。 ○プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から、用途の違いがあることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○プラスチック、金属の再利用について、その方法と必要性を探究する。</p>	<p>○指導事項 1 金属の性質 2 プラスチックの性質 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○金属の一般的な性質や金属結合について理解している。 ○プラスチックの構成粒子である原子や、共有結合について理解している。 【思考・判断・表現】 ○金属の性質の違いから、用途や利用方法について判断できる。 ○プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から、用途の違いがあることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○プラスチック、金属の再利用について、その方法と必要性を理解しようとする。</p>	○	○	○	6
	<p>単元「衣料と食品の科学」 【知識及び技能】 ○植物繊維、化学繊維の種類やそれぞれの構造、性質や用途について理解する。 ○脂質、炭水化物、タンパク質の分類と構造、性質とはたらきを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○天然繊維の化学的性質の違いや構造上の特徴から、用途の違いについて考察する。 ○食品に含まれる各栄養素の、生体内におけるはたらきについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○身のまわりにある繊維について興味をもち、その種類や性質、衣料材料の構造と加工について理解する。 ○食品中の栄養素について意欲をもつ。</p>	<p>○指導事項 1 衣料の科学 2 食品の科学 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○植物繊維、化学繊維の種類やそれぞれの構造、性質や用途について理解している。 ○脂質、炭水化物、タンパク質の分類と構造性質とはたらきを理解している。 【思考・判断・表現】 ○天然繊維の化学的性質の違いや構造上の特徴から、用途の違いについて考察することができる。 ○食品に含まれる各栄養素の、生体内におけるはたらきについて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○身のまわりにある繊維について興味をもちその種類や性質、衣料材料の構造と加工について理解しようとする。 ○食品中の栄養素について意欲をもって学習する。</p>	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>単元「太陽と地球」 【知識及び技能】 ○天体の動き、太陽や月の動きについて理解する。 ○潮汐について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○地球と月、太陽の位置関係を踏まえ潮汐のようすを説明する。 ○太陽や月の年周運動から、暦が形成されることを思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○天体の動きについて学習し、太陽や月の動きと潮汐、暦との関係を理解する。</p>	<p>○指導事項 1 太陽と月の動き 2 太陽と大気・水の関係 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○天体の動き、太陽や月の動きについて理解している。 ○潮汐について理解している。 【思考・判断・表現】 ○地球と月、太陽の位置関係を踏まえて潮汐のようすを説明できる。 ○太陽や月の年周運動から、暦が形成されることを思考できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○天体の動きについて学習し、太陽や月の動きと潮汐、暦の関係を理解しようとする。</p>	○	○	○	7
	<p>単元「自然景観と自然災害」 【知識及び技能】 ○日本列島と、付近のプレートの動きを理解する。 ○日本列島の地震活動と地震の発生のしくみ、地震災害と防災について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ○マグマの性質や噴火の様式で火山の形や性質が決まることを理解する。 ○おもにプレートの活動によって地震がおこることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ○日本の火山活動に関心をもち噴火や火山のでき方を理解する。 ○地震に関心をもち、地震の発生するしくみを理解する。</p>	<p>○指導事項 1 自然景観の成り立ち 2 自然災害と防災 ○教材 教科書、補助プリント ○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】 ○日本列島と、その付近のプレートの動きを理解している。 ○日本列島の地震活動と地震の発生のしくみ地震災害と防災について理解している。 【思考・判断・表現】 ○マグマの性質や噴火の様式によって火山の形や性質が決まることを理解している。 ○おもにプレートの活動によって地震がおこることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日本の火山活動に関心をもち、噴火や火山の形のでき方を理解しようとする。 ○地震に関心をもち、地震の発生するしくみを理解しようとする。</p>	○	○	○	8



年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 2 学年 A 組～

使用教科書：（東京書籍 新編 生物基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現し、科学的に探究する力を身に付ける。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>単元「生物の多様性と共通性」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解する。</li> <li>○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだし考察する。</li> <li>○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだし表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生物の多様性と共通性について学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物の多様性</li> <li>2 生物の共通性</li> <li>3 細胞の特徴</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。</li> <li>○細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだし考察している。</li> <li>○生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだし表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>単元「生物とエネルギー」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解する。</li> <li>○酵素の基本的特徴を理解する。</li> <li>○呼吸と呼吸の概要について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生のバイナッブルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見つけ表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○代謝について学習した用語のつながりを整理し、振り返る。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体とATP</li> <li>2 酵素のはたらき</li> <li>3 呼吸と光合成</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。</li> <li>○酵素の基本的な特徴を理解している。</li> <li>○呼吸と呼吸の概要について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生のバイナッブルを使ったゼラチンと寒天の実験から、酵素の基質特異性を見いだし表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>単元「遺伝情報とDNA」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解する。</li> <li>○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解する。</li> <li>○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果どの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだし表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DNAの構造について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物と遺伝子</li> <li>2 DNAの構造</li> <li>3 DNAの複製と分配</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。</li> <li>○DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。</li> <li>○細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果どの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだし表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○DNAの構造について、学習した用語のつながりを整理し、振り返ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5

	<p>単元「遺伝情報とタンパク質」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解する。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解する。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 タンパク質</p> <p>2 タンパク質と遺伝情報</p> <p>3 細胞の分化と遺伝子</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。</p> <p>○DNAの塩基配列からmRNAの塩基配列へ転写され、mRNAの塩基配列からtRNAを介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。</p> <p>○個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○DNAの塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNAの塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	<p>単元「体を調節するしくみ」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解する。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解する。</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモンその作用について理解する。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察する。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気づき考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 体内環境</p> <p>2 神経系による情報伝達</p> <p>3 内分泌系による情報伝達</p> <p>4 血糖濃度の調節</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。</p> <p>○神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。</p> <p>○内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。</p> <p>○体温の調節と関係する器官のはたらきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○運動の前後の呼吸数や脈拍数などの体の変化から、体には体内環境の変化という情報を伝達する経路があることに気づき、考察している。</p> <p>○食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気づき考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○神経系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p> <p>○内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p> <p>○体内環境の調節について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「免疫のはたらき」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいていることを理解する。</p> <p>○一次応答と二次応答のしくみと免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解する。</p> <p>○アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察する。</p> <p>○一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返る。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 免疫のしくみ</p> <p>2 免疫の応用</p> <p>3 免疫とさまざまな疾患</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいていることを理解している。</p> <p>○一次応答と二次応答と、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。</p> <p>○アレルギー、自己免疫疾患、AIDSなどの疾患のメカニズムを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察している。</p> <p>○一次応答と二次応答における抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	単元「植生と遷移」	○指導事項	【知識・技能】				



年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 3 学年 A 組～

使用教科書：（東京書籍 新編 化学基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活との関連を図りながら、化学や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	化学の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現し、科学的に探究する力を身に付ける。	化学や化学現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「化学とは何か」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○化学が物質や変化を対象とする学問であることを理解する。</li> <li>○物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断したりする。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究する。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 物質やその変化</li> <li>2 物質の性質</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。</li> <li>○物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質の性質を調べる活動において、科学的に探究する方法を提案したり、実験結果を科学的に判断している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究している。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>単元「物質の成分と構成元素」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解する。</li> <li>○混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する方法を身に付ける。</li> <li>○粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解する。</li> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期の関係について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○代表的な典型元素について、簡単なモデルで表す。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 物質の成分</li> <li>2 物質の構成元素</li> <li>3 状態変化と熱運動</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解している。</li> <li>○混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。</li> <li>○粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解している。</li> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○代表的な典型元素について、簡単なモデルで表している。</li> </ul>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
<p>単元「原子の構造と周期表」</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。</li> <li>○原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素を簡単なモデルで表す。</li> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解する。</li> <li>○イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を表現する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。</li> </ul>	<p>○指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 原子の構造</li> <li>2 イオン</li> <li>3 元素の相互関係</li> </ol> <p>○教材 教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用 データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解している。</li> <li>○原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表している。</li> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。</li> <li>○イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究している。</li> </ul>	○	○	○	5

1 学期



	<p>識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○酸と塩基の反応の量的関係を物質質量と関連付けて考察する。</p> <p>○中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求める。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○酸、塩基や中和反応に関心を持ち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究する。</p>		<p>○中和反応に関与する物質の量的関係を理解し、中和反応における酸と塩基の量的関係を計算によって求めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○酸、塩基や中和反応に関心を持ち、それらを日常生活に関連付けて、意欲的に探究している。</p>	○	○	○	10	
	<p>単元「酸化還元反応」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○酸化・還元の見方を理解し、知識を身に付ける。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 酸化と還元</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○酸化・還元の見方を理解し、知識を身に付けている。</p>		○		2	
	定期考査			○	○		1	
	<p>単元「酸化還元反応」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○酸化・還元の見方を理解し、知識を身に付ける。</p> <p>○酸化還元反応の量的関係を理解する。</p> <p>○イオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○酸化還元反応を酸化数の増減によって判断する。</p> <p>○酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式をもとに酸化還元反応を組み立てる。</p> <p>○人間生活において、酸化還元反応が身近に起こっていることを知り、それを利用した電気分解について考える。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味を持ち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究する。</p>	<p>○指導事項</p> <p>2 酸化剤と還元剤の反応</p> <p>3 酸化還元反応の量的関係</p> <p>4 金属のイオン化傾向</p> <p>5 電池</p> <p>6 金属の製錬</p> <p>7 電気分解</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○酸化・還元の見方を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>○酸化還元反応の量的関係を理解している。</p> <p>○金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○酸化還元反応を酸化数の増減によって判断している。</p> <p>○酸化剤、還元剤のはたらきを理解し、半反応式から酸化還元反応を組み立てられる。</p> <p>○人間生活において、酸化還元反応が身近に起こっていることを知り、それを利用した電気分解について考えられる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○燃焼、金属の溶解や腐食などの反応に興味を持ち、電子の授受という観点から、それらを意欲的に探究している。</p>	○	○	○	13	
3 学 期	<p>単元「生態系と生物の多様性」</p> <p>【知識・技能】</p> <p>○「化学基礎」で学んだ事が日常生活や社会を支える科学技術との結びつきを理解し考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究する。</p>	<p>○指導事項</p> <p>1 水道水について</p> <p>2 リサイクルについて</p> <p>○教材</p> <p>教科書、補助プリント</p> <p>○一人1台端末の活用</p> <p>データ整理、文献検索、まとめ等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○「化学基礎」で学んだ事が日常生活や社会を支える科学技術との結びつきを理解し、考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○「化学基礎」で学んだ事柄が日常生活や社会の中でどのようにいかされているかに注目し、意欲的に探究している。</p>		○	○	○	4
	定期考査			○	○		1	



年間授業計画様式

東京都立豊島高等学校 令和6年度 教科 理科 科目 地学基礎 年間授業計画

教科: 理科 科目: 地学基礎 単位数: 3単位

対象学年組: 第4学年A組)

使用教科書:(東京書籍 改訂 地学基礎 )

使用教材 : (教科書、ワークシート )

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	日本の自然環境	・日本における自然環境が人間生活と深くかかわっていることを知る。	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等  <b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	5
	地球の形と大きさ	・地球の形が、厳密には球でないことを知り、エラステネスの方法により地球の大きさを測定できることについて理解する。		4

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
地球内部の層構造	・地球内部が地殻、マントル、外核、内核の層状の構造であることを知る。	【評価の観点】 ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等	3
変動する地球	・大陸プレートと海洋プレートの違いや、プレート分布、プレートが運動していることを理解し、プレート境界には発散する境界、収束する境界、すれ違う境界の3通りあることを知る。	○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等	4
プレートの運動	・プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解する。	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
中間考査		【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1
考査までの振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

5  
月

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	火山活動と地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートが発散する境界や収束する境界における火山の分布や火山活動の特徴について知る。</li> <li>・火成岩が、組織と造岩鉱物の組成に基づいて分類されることを理解する。</li> </ul>	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等	4
	移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海溝付近の地震発生の仕組みについて理解し、内陸部の活断層による地震があることについて知る。</li> </ul>	○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等	3
	地層の形成と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・露頭の観察やモデル実験などにより、地層が形成される仕組みを理解する。</li> </ul>	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
	地層の形成と地質構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆積岩の特徴について理解する。</li> <li>・褶曲、断層、不整合などの地質構造について理解する。</li> </ul>	<b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	3

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月 大気と海洋  期末考査  学期の振り返り	・気温の高度変化に基づいて対流圏・成層圏等、四つに区分される大気の温度構造を知る。  ・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等  <b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4  1  1

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
地球の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球全体の太陽放射の受熱量と地球放射の放熱量が釣り合うことを知る。</li> <li>・温室効果の原因となるガスについて知る。</li> </ul>	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等	4
大気と海水の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気や海水が地球規模で循環していることを知る。</li> </ul>	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化、オゾン層破壊、エルニーニョ現象などの現象について理解する。</li> </ul>	<b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4

9  
月

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	古生物の変遷と地球環境	・地質時代を代表する示準化石及び示相化石について理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等	4
	先カンブリア時代	・生命の起源について、仮説の紹介とともに進化について理解する。	○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等	4
	古生代	・脊椎動物の起源 現代とは異なる生物群についてバージェス頁岩からの化石生物群について理解する。	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
	中間考査		【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認	1
	考査までの振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。	○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	1

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
中生代	・恐竜の時代、地球史の大きな変化、恐竜の時代の終焉、隕石落下による地球環境の変化仮説について理解する。	【評価の観点】 ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等	4
新生代	・植物・動物の変化について理解する。	○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等	4
人類の進化	・霊長類の進化、ホモサピエンスの進化について理解する。	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
11 月		【評価の方法】 ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	宇宙における地球	・宇宙の誕生では、宇宙の始まりにビッグバンがあり、現在も宇宙の膨張が続いていることを知る。	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等  <b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	4
	宇宙のすがた	・銀河系や銀河の存在について知り、銀河系の構造を理解する。		4
	太陽と恒星	・太陽の元素組成について知る。		3
	期末考査			1
	学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
太陽のエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽表面に見られる黒点や粒状斑、プロミネンスなどの現象について知り、太陽のエネルギー源が太陽内部で起こる核融合反応であることを理解する。</li> </ul>	<b>【評価の観点】</b> ○【知識・技能】 小テスト、観察・実験等 ○【思考・判断・表現】 ワークシート、観察・実験報告書等 ○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	3
惑星としての地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>星間物質などから太陽系が形成されたことについて知り、地球は太陽系の惑星の一つとして形成されたことについて理解する。</li> </ul>	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	3
太陽系の中の地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球に海が形成されたことが、生命を生み出す条件であったことを理解する。</li> </ul>	○【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実験報告書等	4
1月		<b>【評価の方法】</b> ○考査 ○行動の確認 ○記述の点検(ワークシート、観察・実験報告書)	

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	学年末考査			1
	学期の振り返り	・誤答が多い箇所を中心に復習を行う。		1

	指導内容	地学基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 A 組

使用教科書：（現代高等保健体育）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認					1
	【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・体づくり運動について ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
	【スポーツテスト】 【知識及び技能】 ・自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、測定などの方法や行い方、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、測定に協力しようとしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じ	・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトラクロス ・ドッジビー	【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻				

<p>た技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>		<p>防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史的発展と多様な変化。</li> <li>・スポーツの経済的効果と高潔さ。</li> <li>・スポーツが環境や社会にもたらす影響。</li> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方。</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5

2 学 期	<p>【バスケットボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート</li> <li>・パス</li> <li>・ドリブル</li> <li>・動き方</li> <li>・守備</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーハンドパス</li> <li>・アンダーハンドパス</li> <li>・サービス</li> <li>・スパイク</li> <li>・ローテーション</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>【バドミントン】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>シングルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス</li> <li>・ラリー</li> <li>・クリアー</li> <li>・ドライブ</li> <li>・ロビング</li> <li>・ヘアピン</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・パターン練習</li> </ul> <p>ダブルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブ&amp;ヘアピン</li> <li>・クリアー&amp;スマッシュ</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8

3 学 期	<p>【ソフトボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチボール</li> <li>・捕球</li> <li>・送球</li> <li>・バッティング</li> <li>・動き方</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>【卓球】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シングルス</li> <li>・サービス</li> <li>・フォアハンド</li> <li>・バックハンド</li> <li>・ラリー</li> <li>・ドライブ</li> <li>・スライス</li> <li>・ツッツキ</li> <li>・スマッシュ</li> <li>ダブルス</li> <li>・パターン練習</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割に応じたボール操作や安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>【フットサル】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート</li> <li>・パス</li> <li>・守備</li> <li>・動き方</li> <li>・ドリブル</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8



高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位  
 対象学年組：第2学年 A 組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活カある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認					1
【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・体づくり運動について ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
【スポーツテスト】 【知識及び技能】 ・自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、測定などの方法や行い方、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、測定に協力しようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名	・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトラクロス ・ドッジビー	【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能				

1  
学  
期

<p>称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史的発展と多様な変化。</li> <li>・スポーツの経済的効果と高潔さ。</li> <li>・スポーツが環境や社会にもたらす影響。</li> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方。</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5

2 学 期	<p>【バスケットボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート</li> <li>・パス</li> <li>・ドリブル</li> <li>・動き方</li> <li>・守備</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーハンドパス</li> <li>・アンダーハンドパス</li> <li>・サービス</li> <li>・スパイク</li> <li>・ローテーション</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>【バドミントン】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>シングルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス</li> <li>・ラリー</li> <li>・クリアー</li> <li>・ドライブ</li> <li>・ロビング</li> <li>・ヘアピン</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・パターン練習</li> </ul> <p>ダブルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブ&amp;ヘアピン</li> <li>・クリアー&amp;スマッシュ</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8





高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位  
 対象学年組：第3学年 A 組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、ひとりひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【オリエンテーション】 授業の決まりやルールを理解する。	一年間の授業の決まりや取り組み方の確認					1
	【体づくり運動】 【知識及び運動】 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方を理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・体づくり運動について ・ストレッチ ・筋力トレーニング等 ・コーディネーショントレーニング ・コアストレッチ ・体幹トレーニング等 ・ボールを使った運動（個人） ・ボールを使った運動（ペア） ・ボールを使った運動（集団）	【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5
	【スポーツテスト】 【知識及び技能】 ・自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、測定などの方法や行い方、協議会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組みを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするようにする。	・握力 ・上体起こし ・反復横跳び ・長座体前屈 ・立ち幅跳び ・50m走 ・ハンドボール投げ ・20mシャトルラン	【知識・技能】 ・測定の方法や行い方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・スポーツテストに主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、測定に協力しようとしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	【ニュースポーツ】 【知識及び技能】 ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名	・アルティメット ・ユニバーサルホッケー ・インディアカ ・ソフトラクロス ・ドッジビー	【知識・技能】 ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能				

<p>称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>【体育理論（運動・スポーツの文化的特徴）】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史、文化を学び、文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断しながら他者に伝えていけるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的・主体的に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの歴史的発展と多様な変化。</li> <li>・スポーツの経済的効果と高潔さ。</li> <li>・スポーツが環境や社会にもたらす影響。</li> <li>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方。</li> <li>・豊かなスポーツライフの設計の仕方。</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	5

2 学 期	<p>【バスケットボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュート</li> <li>・パス</li> <li>・ドリブル</li> <li>・動き方</li> <li>・守備</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	7
	<p>【バレーボール】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーハンドパス</li> <li>・アンダーハンドパス</li> <li>・サービス</li> <li>・スパイク</li> <li>・ローテーション</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>【バドミントン】</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</li> </ul>	<p>シングルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス</li> <li>・ラリー</li> <li>・クリアー</li> <li>・ドライブ</li> <li>・ロビング</li> <li>・ヘアピン</li> <li>・スマッシュ</li> <li>・パターン練習</li> </ul> <p>ダブルス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライブ&amp;ヘアピン</li> <li>・クリアー&amp;スマッシュ</li> <li>・動き方</li> <li>・一人一台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</li> </ul> <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定したラケット操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</li> </ul>	○	○	○	8





年間授業計画様式

豊島高等学校 令和6年度 教科 保健体育 科目 体育 年間授業計画

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2単位

対象学年組： 第4学年A組

使用教科書：（ 最新高等保健体育 改訂版 ）

使用教材：（ 各種目に応じた教具 ）

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
4 月	オリエンテーション			1
	体づくり運動	【生涯にわたる豊かなスポーツライフを継続することを目指して、一つの領域の学習の時間を十分確保する中で、身に付けた技能や動き等をさらに高めたり、新たに得意技を身に付けたりして、攻防や動きの様相を高めて、記録や技に挑戦したり、ルールを一層正規に近づけるなどして試合をしたり、発表したりできるようにする。】		2
		体力を高める運動①		2
		体力を高める運動②		2
		体力を高める運動③	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	1

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	スポーツテスト	【毎年度始めにスポーツテストを実施することで、生徒が将来にわたって心身ともに健康で活力ある生活を営むことができる。】		1
		スポーツテスト①		1
		スポーツテスト②		1
		スポーツテスト③		1
		スポーツテスト④		1
		スポーツテスト⑤		1
		スポーツテスト⑥	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	1

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	ニュースポーツ	【球技に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保できるようにする。また、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開できる。】	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	
		基本技術①		2
		基本技術②		2
		基本技術③		1
	応用技術①	1		
7 月	体育理論	【スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解できるようにする。】	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	
		①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義について		1
		②スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について		1
		③スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について		1
		④運動やスポーツの効果的な学習の仕方について		1
⑤ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について	1			

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
8 月				

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	球技ゴール型 バスケットボール	【勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。】	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	
		基本技術①		2
		基本技術②		2
		基本技術③		1
		応用技術①		1
応用技術②	1			

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月 10	球技ゴール型 バレーボール	【勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができる。】	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	
		基本技術①		2
		基本技術②		2
		基本技術③		2
		応用技術①		1
応用技術②	1			



	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
月 12	球技ベースボール型 ソフトボール	【勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。】	【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。	
		基本技術①		2
		基本技術②		2
		基本技術③		2
		応用技術①		1
応用技術②	1			

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	球技ネット型 卓球	【勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。】		
		基本技術①		2
		基本技術②		2
		基本技術③		2
		応用技術①		1
応用技術②	1			

【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月 球技ゴール型 フットサル	<p>【勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができる。】</p>	<p>【関・意・態】出席状況及び授業への参加意欲を総合的に判断する。</p>	
	基本技術①		2
	基本技術②		2
	基本技術③		2
	応用技術①		1
応用技術②	1		

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
3 月				

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>(1) 現代社会と健康</p> <p>(7) 健康の考え方</p> <p>【知識及び技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_健康の考え方と成り立ち</p> <p>02_私たちの健康のすがた</p> <p>18_健康に関する意思決定・行動選択</p> <p>19_健康に関する環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>①我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を踏まえた国民の健康課題について、また、健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方を例として健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、それらを踏まえて免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方にに基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であること、適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していること、健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>②国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。</p> <p>③健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4

1 学期	<p>(1) 現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 【知識及び技能】 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>03_生活習慣病の予防と回復 04_がんの原因と予防 05_がんの治療と回復 06_運動と健康 07_食事と健康 08_休養・睡眠と健康 ・タブレット端末 ・一人1 台端末 ・ワークシート</p>	<p>(1) 現代社会と健康 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】 ①がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であること、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあること、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ②生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
---------	--	---	--	---	---	---	---

<p>(1) 現代社会と健康 (x)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>09_喫煙と健康 10_飲酒と健康 11_薬物乱用と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないこと、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>	<p>1 学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>上記 (1) 現代社会と健康 (7)健康の考え方 (9)生活習慣病などの予防と回復 (x)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康による</p>	○	○		1
<p>(1) 現代社会と健康 (x)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識及び技能】 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと、それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>09_喫煙と健康 10_飲酒と健康 11_薬物乱用と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないこと、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
<p>(1) 現代社会と健康 (w)精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し</p>	<p>12_精神疾患の特徴 13_精神疾患の予防 14_精神疾患からの回復 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であること、うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などを適宜取り上げ、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期</p>				

<p>判断するとともに、それらを表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>		<p>に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であること、心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まること、人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対象ではないことなどについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ①精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ②精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ①精神疾患の予防と回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
---	--	--	---	---	---	---

2 学 期	<p>(1) 現代社会と健康 (イ) 現代の感染症とその予防</p> <p>【知識及び技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>15_現代の感染症 16_感染症の予防 17_性感染症・エイズとその予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ①感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157等）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られること、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症の原因、予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ②現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>(2) 安全な社会生活 (ア) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指す、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任が生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
定期考査		2学期期末考査 及び 答案返却・解説	<p>(1) 現代社会と健康 (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (オ) 精神疾患の予防と回復 (イ) 現代の感染症とその予防 (2) 安全な社会生活 (ア) 安全な社会づくり による</p>	○	○		1

3 学 期	<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり 【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに伴った個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 ③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	1
	<p>(2) 安全な社会生活 (4) 応急手当 【知識及び技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解を深める。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それら表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>04_応急手当の意義とその基本 05_日常的な応急手当 06_心肺蘇生法 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに伴った体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。 ③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査	学年末考査 及び 答案返却・解説	(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり (4) 応急手当 による	○	○		1
合計							35

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

使用教科書：（現代高等保健体育 50 大修館 保体701）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり</p> <p>【知識及び技能】 安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること、交通事故には補償をはじめとした責任が生じることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_事故の現状と発生要因 02_安全な社会の形成 03_交通における安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>①事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</p> <p>②安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。</p> <p>③交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。</p> <p>④安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
1 学期						

<p>(2) 安全な社会生活 (イ) 応急手当</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること、応急手当には、正しい手順や方法があること、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることについて理解を深める。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>04_応急手当の意義とその基本 05_日常的な応急手当 06_心肺蘇生法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b> ①適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすること、自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることについて、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、応急手当ができる。</p> <p>③心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりしているとともに、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> ①応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。</p> <p>②応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ①応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>	<p>1 学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>(2) 安全な社会生活 (7) 安全な社会づくり (イ) 応急手当 による</p>	○	○		1

<p>(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 【知識及び技能】 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_ライフステージと健康 02_思春期と健康 03_性意識と性行動の選択 04_妊娠・出産と健康 05_避妊法と人工妊娠中絶 06_結婚生活と健康 07_中高年期と健康 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあること、その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わること、また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流をもつことなどが関係すること、また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 ③結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ④加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>10</p>
<p>【知識・技能】 労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>08_働くことと健康 09_労働災害と健康 10_健康的な職業生活 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたこと、また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であること、その際、仕事のストレスによる精神疾患が含まれていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つこと、その際、ストレスに対する気付きへの援助、リラクゼーションの指導など、メンタルヘルスクエアが重要視されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ②働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。</p>	<p>4</p>

		<p>③生涯を通じる健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
定期考査	2学期期末考査 及び 答案返却・解説	<p>(3) 生涯を通じる健康</p> <p>(7) 生涯の各段階における健康</p> <p>(4) 労働と健康による</p>				1

<p>(4) 健康を支える環境づくり (7) 環境と健康 【知識及び技能】 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること、また、環境衛生活動は、学校や地の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>01_大気汚染と健康 02_水質汚濁、土壌汚染と健康 03_環境と健康にかかわる対策 04_ごみの処理と上下水道の整備 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であること、また、そのために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ②人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善の方策に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		2
<p>(4) 健康を支える環境づくり (4) 食品と健康 【知識及び技能】 食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること、また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>05_食品の安全性 06_食品衛生にかかわる活動 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ①食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>		2
<p>(4) 健康を支える環境づくり (7) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 【知識及び技能】 生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること、また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p>	<p>07_保健サービスとその活用 08_医療サービスとその活用 09_医薬品の制度とその活用 ・タブレット端末 ・一人1台端末 ・ワークシート</p>	<p>【知識・技能】 ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		2

<p>を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>		<p>し、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				
<p>(4) 健康を支える環境づくり (x) 様々な保健活動や社会的対策</p> <p>【知識及び技能】 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>10_さまざまな保健活動や社会的対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ①我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				1

<p>(4) 健康を支える環境づくり (ウ)健康に関する環境づくりと社会参加</p> <p>【知識及び技能】 自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること、また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることについて理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>	<p>11_健康に関する環境づくりと社会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末</li> <li>・一人1台端末</li> <li>・ワークシート</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ①自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ②健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>				1
<p>定期考査</p>	<p>3学期期末考査 及び 答案返却・解説</p>	<p>(4) 健康を支える環境づくり (7) 環境と健康 (イ) 食品と健康 (ロ) 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 (エ) 様々な保健活動や社会的対策 (オ) 健康に関する環境づくりと社会参加による</p>				1
合計						
合計						35

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 工芸 I

教科：芸術 科目：工芸 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

使用教科書：（ 工芸 I 日本文教出版 ）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

科目 工芸 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸についての基本的な知識・理解。 道具や素材についての理解。	素材の特性を生かした表現。 技法について理解し、目的に応じた形態の作品の製作。	良い作品を制作しようという向上心。 準備、片付けを含む制作への前向きな取り組み。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学 期	オリエンテーション・木工 【知識及び技能】 木材と道具の理解。使用。 【思考力、判断力、表現力等】木の性質、用途に合わせたデザインを考える。完成度の高い作品を作る事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	・工芸の定義の説明。 ・年間授業計画の説明。 ・木工 木の種類と用途。 ・ペン皿のデザイン。 ・電動のこぎりと彫刻刀の使い方。	○	○	○	【知識及び技能】 電動のこぎり、彫刻刀を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 木の性質、用途に合わせたデザインを考えれる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	4
		・木工（ペン皿）の製作。 ・彫刻刀の彫り方の種類。	○			【知識及び技能】 彫刻刀を正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧にイメージを表現する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
		・木工（ペン皿）の製作。 ・棒やすりと紙やすりの特性と手順。	○			【知識及び技能】 棒やすりと紙やすりを正しく使える。 【思考力、判断力、表現力等】 丁寧にイメージを表現する事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8
		・木工（ペン皿）の製作。 ・ステイン、との粉、ワックスの特性と用途。使用。	○			【知識及び技能】 ステイン、との粉、ワックスを正しく使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	6
2 学 期	クラフトバンドのかご作り 【知識及び技能】 素材の理解、色々な編み方、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】クラフトバンドの特性を理解し、生かしたデザインを考え、完成度の高い作品を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	藤細工など、弦を編んで作る伝統工芸の紹介。 ・クラフトバンドで基本的な編み方で小さいかごを作る。 ・クラフトバンド自由制作。基本を理解し、自分の生活に使える籠をデザインする。	○		○	【知識及び技能】 素材の理解、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。素材の特性や自分の生活を踏まえたデザインを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	12
		・クラフトバンド自由制作	○			【知識及び技能】 素材の理解、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の完成度。素材の特性や自分の生活を踏まえたデザイン。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	16
	モザイクタイルの鍋敷き 【知識及び技能】 素材の理解、モザイク画の知識、工程の理解。 【思考力、判断力、表現力等】素材の特性を生かしたデザインを考え、完成度の高い作品を作る。	・モザイク画の鑑賞。 ・モザイクタイルの鍋敷き。 ・配色とデザイン。	○	○		【知識及び技能】 モザイク画の理解。接着剤、セメントの適切な使用。 【思考力、判断力、表現力等】 素材や技法を生かした配色。デザイン性。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に集中して制作に取り組める。	○	○	○	8



高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

使用教科書：（書道 I 東京書籍）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢 仮						
書写から書道へ □書写で学んできたこと □用具・用材 □姿勢・執筆法 【知識及び技能】 ・効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける	・指導事項 書写と書道の違いについて理解する。 用具・用材・姿勢・執筆法について理解し、今後の学習の基盤を形成する。			○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	2
漢字 □漢字の成立と変遷 □古典に基づく学習 【知識及び技能】 ・漢字の成立と変遷について、実例を元に理解する ・書道の学習方法を知り、その意義を確認するとともに、書に関する見方・考え方を働かせる 【思考力、判断力、表現力等】 ・それぞれの書体の違いと特徴を理解する	・指導事項 漢字の成立と変遷について学ぶ。 臨書の種類とそれぞれの意味について学習し、今後の学習に生かせるよう基盤を作る。		○	○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	1
楷書 □楷書の特徴 □表現を比べよう □九成宮醜泉銘 □孔子廟堂碑 □雁塔聖教序 □自書告身 □牛嶽造像記 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感受する 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に取り組み、書の伝統と文化に親しむ	・指導事項 楷書のそれぞれの特徴を理解し、その違いを言語化して捉える。 それぞれの特徴を踏まえて臨書する。 書表現の多様性を理解し、積極的に鑑賞する態度を身につけさせる。 時代による書の変化を理解する。		○	○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	11
行書 □行書の特徴 □蘭亭序 □争坐位文稿 □風信帖 【知識及び技能】 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、その違いを感受する ・書風の違いを考え、効果的に表現する	・指導事項 楷書との違い、行書ならではの特徴を理解する。 表現方法、書風を理解し、表現する。 軽快な用筆を理解し、身につける。 創作を意識し、書作品のまとめ方を習得する。		○	○	学習活動への参加の仕方や態度・作品・学習の記録	○	○	○	8

1 学期





豊島 高等学校 令和6年度 (定時制課程 1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 A 組

使用教科書: ( All Aboard! English Communication I )

- 教科 外国語 の目標:
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

Table with 3 columns: 【知識及び技能】, 【思考力、判断力、表現力等】, 【学びに向かう力、人間性等】. Each column contains detailed learning objectives for English communication.

Main curriculum table with columns: 単元の具体的な指導目標, 指導項目・内容, 領域 (聞, 読, 話, 書), 評価規準, 知, 思, 態, 配当時数. It details lessons on breakfast and Australia's wildlife.

Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	<p>【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解する。列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。</p> <p>【言語材料】 助動詞：can, will</p> <p>【言語活動】 ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。</p> <p>必要に応じて下記の単元を加えて指導</p> <p>Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko</p> <p>【知識及び技能】 be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとする。</p> <p>Pre-Lesson2 I like Junk Food!</p> <p>【知識及び技能】 一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを、一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとする。</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識及び技能】 助動詞can, willを用いた文の形・意味・用法を理解している。列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞can, willを用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	○ ○ ○ 18
2 学期	定期考査				○ ○ 1
Lesson 4 A Miracle Mirror	<p>【知識及び技能】 to不定詞 (to+動詞の原形)を用いた文の形・意味・用法を理解する。ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞 (to+動詞の原形)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとする。</p>	<p>【題材内容】 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。</p> <p>【言語材料】 to不定詞：(to+動詞の原形)</p> <p>【言語活動】 行ってみたい場所について、英語で述べるができる。</p> <p>必要に応じて下記の単元を加えて指導</p> <p>Pre-Lesson1 My Name Is Ito Neko</p> <p>【知識及び技能】 be動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。自分の名前・性格・特徴などを、be動詞を用いて、相手に伝える技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとする。</p> <p>Pre-Lesson2 I like Junk Food!</p> <p>【知識及び技能】 一般動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを、一般動詞を用いて、相手に伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとする。</p>	○ ○ ○ ○ ○	<p>【知識及び技能】 to不定詞 (to+動詞の原形)を用いた文の形・意味・用法を理解している。ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to不定詞 (to+動詞の原形)を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	○ ○ ○ 19
	定期考査				○ ○ 1





	<p>Lesson8 A Door to a New Life</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 現在完了形 (have[has]+過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解する。現在完了形 (have[has]+過去分詞) の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとする。</p>	<p><b>【題材内容】</b> ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。</p> <p><b>【言語材料】</b> 現在完了形 (have[has]+過去分詞)</p> <p><b>【言語活動】</b> 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> 現在完了形 (have[has]+過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。現在完了形 (have[has]+過去分詞) の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につけている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	12
定期考査					○ ○	1
2 学 期	<p>Lesson 9 Fighting Plastic Pollution</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解する。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解する。「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合う。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合うとする。</p>	<p><b>【題材内容】</b> プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。</p> <p><b>【言語材料】</b> 名詞を後ろから修飾する分詞</p> <p><b>【言語活動】</b> 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> 「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解している。「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	○ ○ ○ ○ ○	12
定期考査					○ ○	1



豊島 高等学校 令和6年度 (定時制課程3学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅡ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組

使用教科書: ( All Aboard! English CommunicationⅡ )

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えたりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 ( <small>「</small> や <small>」</small> )	話 ( <small>「</small> 発 <small>」</small> )						
Lesson 1 A Colorful Island 【知識及び技能】 [知識]関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解する。また、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて調べた事柄を整理・理解する。 [技能]関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、自分で調べた事柄を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合う。	[題材内容] イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 [言語材料] 関係代名詞: what [言語活動] 海外で行ってみたい場所について、英語で述べるができる。										
1 学期 定期考査			○	○	○	○					17
Lesson 2 With the Beatles 【知識及び技能】 [知識]比較表現 (more) (the most) を用いた文の形・意味を理解する。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理・理解する。 [技能]比較表現 (more) (the most) の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 世代を超えて人気のある音楽バンドに関して書かれた対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合う。	[題材内容] 曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 [言語材料] 比較表現: more, the most [言語活動] 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。										
			○	○	○	○					17







年間授業計画

豊島高等学校 令和6年度(定時制課程) 教科:外国語 科目:英語会話 年間授業計画

教科: 外国語 科目: 英語会話 単位数: 2単位

対象学年組: 第4学年A組

使用教科書: ( Select English Conversation )

使用教材: ( 教科書・ワークシート )

	指導内容	科目「英語会話」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson8 Telling the Way 道案内	・SV00の文型 ・道案内で用いる命令文 ・Couldを使ったたずね方	道案内に関する表現を理解する。	6
5月	Lesson8 Telling the Way 道案内	道を歩いてどこかへ行く際の道のたずね方、答え方を学ぶ。 ていねいなたずね方を学ぶ。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。	5
	Lesson 9 Kyoto 観光案内	・疑問詞 Where, How などを用いた尋ね方 ・How many -, How long - を用いた数、距離を尋ねる表現	観光案内に関する表現を理解する。	2
6月	Lesson 9 Kyoto 観光案内	目的地までの交通機関をどのように利用するのか、また時間はどのくらいかかるのかについての基本表現を自然にできるよう暗唱する。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。	8
7月	Lesson 9 Kyoto 観光案内	・疑問詞 Where, How などを用いた尋ね方 ・How many -, How long - を用いた数、距離を尋ねる表現	観光案内に関する表現を理解する。	1
	I学期期末考査	答案指導・解説		2
9月	Lesson 10 Shopping 買い物	買い物場面でのたずね方・答え方などを「セーターを買ってみる」という例において学習する。  ・What size~? How much~?といったサイズ、値段をたずねる表現と答え方 ・May I help you? Show me another one, please. などの買い物の慣用表現	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。  買い物に関する表現を理解する。	6
10月	Lesson 11 Restaurant 食事	レストランで食べたい料理・飲み物などをたずねたり、逆にたずねられた場合のそれらに対する答え方の基本表現に慣れ、自然な形で自己表現できるよう暗唱する。  ・Would you -? という丁寧な尋ね方。 ・Anything else?という、省略した尋ね方。 ・不定詞の形容詞用法	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。  レストランの表現を理解する。	8
11月	Lesson 12 Making a Plan 約束	約束をする際の基本表現に慣れ、自然な形で表現できるよう暗唱する。  ・Let's を用いた相手を誘う表現 ・How about -? を用いた「提案・申し出」の表現 ・Shall we -? 「相手の意思を問う」尋ね方。	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。  約束をする際の表現を理解する。	8
12月	Lesson 12 Making a Plan 約束	・Let's を用いた相手を誘う表現 ・How about -? を用いた「提案・申し出」の表現 ・Shall we -? 「相手の意思を問う」尋ね方。	約束をする際の表現を理解する。	2
	2学期期末考査	答案指導・解説		2
1月	Lesson 13 Future Jobs 将来やりたいこと	高校生として今なりたい職業を英語で表現してみる。 将来なりたい職業やその理由などを英語を通して楽しく表現してみる。  ・疑問詞 What -? Why-? を用いての尋ね方 ・Because を用いた答え方 ・be going to -, be planning to - などの未来表現	音読、教員とのペアワークを通して「感情を込めて」英語を話す。  職業に関する表現を理解する。	18
2月	学年末考査	答案指導・解説		2

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科: 家庭科 科目: 家庭総合 単位数: 2 単位  
 対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ 組

使用教科書: ( 第一学習社 )

教科 家庭科 の目標:

- 【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて、生活を主体的に営むために必要な基本的な知識理解を図り、関する技能を身に付ける
  - 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践結果を評価し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする基本的な態度を養う。
- 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

科目 家庭総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会生活に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図ろうとする実践的な態度である。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元1章 これからの生き方と家族 【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対し意思決定をしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	・人の一生を生涯発達の視点でとらえる ライフステージ表 ワークライフバランス 世帯の捉え方 配偶者選択と結婚行動の変化 現行民法	【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について基本的な理解がある。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対し意思決定をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫している。	○		○	7
B 単元2章 次世代をはぐむ 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に着けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努める。	・子どもをそだてること 妊娠の経過と母胎の健康 新生児の運動機能の発達 乳幼児の言語の発達 幼児の遊びを知る 地域社会と子育て支援 子どもの人権	【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援についての基本的な知識理解があり、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に着けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努めている。	○	○	○	9

子 期										
	<p>C 単元6章 衣生活を作る</p> <p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫すること。</p>	<p>・ 高校生の衣生活 被服の保健衛生上の機能 自分らしく装う 既製服の表示 被服素材と性能 ・ 洗濯方法としくみ その表示 被服の手入れと保管 伝統的衣文化（ミニ着物） 持続的な世界の衣生活</p>	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理についての基本的な知識を理解し、衣生活の自立に必要な基本的な知識と技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができています。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫している。</p>				○	○	8	
	定期考査						○	○		1
	6章 衣生活を作る2	<p>被服の仕組みと作り 自身を着用するカーゴパンツ作り 型紙作製 祭壇 しつけ ミシン 縫い裾始末 ウェストゴム通し アイロン仕上げ</p>								8
	5章 経済生活をつくる	<p>・ ライフステージと収入支出 社会保障制度 売買契約と消費者問題（ネットショッピングDVD） 悪質商法のロールプレイング 消費者支援の法律</p>	<p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し、情報の収集・整理が適切にできています。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動しようとしている。</p>							18
	D 単元ホームプロジェクト	<p>・ 家庭での問題を調べる 課題を持つ一計画を立てる一冬休みに実践する</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の基本的な意義と内容、実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>				○	○	○	2
	定期考査						○	○		1

<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・調べたことを絵や分にして発表する。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の基本的な意義と内容、実施方法について理解している。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
<p>B5章 食生活をつくる</p> <p><b>【知識・技能】</b> おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まで食と人のかかわりについて積極的に関わる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・自身の食生活を振り返る</p> <p>健康と食生活 近年の食生活の変化 地球規模で考える食一食料自給率を通して 栄養素一炭水化物・資質・タンパク質・無機質（ミネラル）ビタミン 食中毒都食の安全 4群で考えるバランスの取れた食事 調理実習一日常に生かそう</p>	<p><b>【知識・技能】</b> おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生についての基本的な知識を理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まで食と人のかかわりについて積極的に関わる。</p>	○	○		13
<p>定期考査</p>			○	○		1
						<p>合計</p> <p>70</p>

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 3 学年 A 組～ 組

使用教科書：（ 第一学習社 ）

教科 家庭科 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかわりについて、生活を主体的に営むために必要な総合的な知識理解と技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする協働的、実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力がある。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、社会生活に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の充実に向上を図ろうとする協働的、実践的な態度である。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元1章 これからの生き方と家族 【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について理解をする 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていく。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	・人の一生を生涯発達の視点でとらえる ライフステージ表 ワークライフバランス 世帯の捉え方 配偶者選択と結婚行動の変化 現行民法	【知識及び技能】 人の一生について、様々な生き方があることを知るとともに、生活課題について意思決定していくことの重要性について総合的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活および、職業生活について、考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫している。	○		○	7
B 単元2章 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に着けること。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努める。	・子どもをそだてること 妊娠の経過と母胎の健康 新生児の運動機能の発達 乳幼児の言語の発達 幼児の遊びを知る 地域社会と子育て支援 子どもの人権	【知識及び技能】 乳幼児の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について、子供の発達に応じて適切に関わるための知識と技能を総合的に身に着けている。 【思考力、判断力、表現力等】 子供を産み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 学校やちいきにおいて、幼稚園や保育所及び、認定こども園などの「乳幼児または近隣の小学校低学年児童との触れ合いや交流を持つよう努めている。	○	○	○	9

子 期										
	<p>C 単元6章 衣生活を作る</p> <p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を身につけていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫すること。</p>	<p>・ 高校生の衣生活 被服の保健衛生上の機能 自分らしく装う 既製服の表示 被服素材と性能 ・ 洗濯方法としくみ その表示 被服の手入れと保管 伝統的衣文化（ミニ着物） 持続的な世界の衣生活</p>	<p>【知識及び技能】 被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生、および被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な知識、技能を総合的に身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴や課題に注目し、身体特性と被服の機能及び着想について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができています。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に衣生活を営むことが出来るよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着想や日本の衣文化の継承・創造について主体的に考察し、工夫している。</p>				○	○	8	
	定期考査						○	○		1
	6章 衣生活を作る2	<p>被服の仕組みと作り 自身を着用するカーゴパンツ作り 型紙作製 祭壇 しつけ ミシン 縫い裾始末 ウェストゴム通し アイロン仕上げ</p>								8
	5章 経済生活をつくる	<p>・ ライフステージと収入支出 社会保障制度 売買契約と消費者問題（ネットショッピングDVD） 悪質商法のロールプレイング 消費者支援の法律</p>	<p>【知識・技能】 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について総合的に理解し、情報の収集・整理が適切にできています。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活における経済の情報リテラシーについて正しく活用している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 消費者の権利と責任を自覚して行動しようとしている。</p>							18
	D 単元ホームプロジェクト	<p>・ 家庭での問題を調べる 課題を持つ一計画を立てる一冬休みに実践する</p>	<p>【知識及び技能】 ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>				○	○	○	2
	定期考査						○	○		1

<p>D 単元ホームプロジェクト</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組む。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践する。</p>	<p>・調べたことを絵や分にして発表する。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義と内容、実施方法について総合的に理解している。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ホームプロジェクトを自己の課題を持って取り組んでいる。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践している。</p>	○	○	○	2
<p>B5章 食生活をつくる</p> <p><b>【知識・技能】</b> おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まで食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p> <p>定期考査</p>	<p>・自身の食生活を振り返る</p> <p>健康と食生活 近年の食生活の変化 地球規模で考える食一食料自給率を通して 栄養素一炭水化物・資質・タンパク質・無機質（ミネラル）ビタミン 食中毒都食の安全 4群で考えるバランスの取れた食事 調理実習一日常に生かそう</p>	<p><b>【知識・技能】</b> おいしさの構成要素や食品の栄養的特質と調理上の性質、栄養の特徴、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けるとともに健康や環境に配慮した食生活を総合的に理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 健康や環境に配慮した自己と家族の食事、日本の文化の継承・創造について考察する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 食生活を取り巻くかだいや食の安全と衛生、日本と世界の食文化まで食と人とのかかわりについて積極的に関わる。</p>	○	○		13
			○	○		1
						合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報

科目： 情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

使用教科書： ( 実教出版 図説情報 I )

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション	1. 中学校までの生徒の知識・技能・経験などの調査 2. コンピュータの起動や終了方法 3. 自己紹介などの文章を作成し、共有フォルダに保存する実習 4. コンピュータ教室でのマナー	・コンピュータの起動と終了ができる。 ・自分のフォルダ内に実習課題を保存することができる。			○	6
	今までの情報技術とこれからの情報技術	1. 情報と情報社会の特徴 2. 情報化の進展と情報技術 3. 情報社会における個人の責任	・データと情報の違いについて理解し、事例をあげて説明することができるか。 ・IoT、人工知能(AI)の意味とその活用について理解しているか。 ・位置情報サービスなど各種サービスの光と影を理解した上で、適切な活用ができる技能を身に付けられたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	1 問題解決	1. 問題解決の手順 2. 情報の収集と整理 3. 情報の分析 <表計算ソフト>	・問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解しているか。 ・検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けているか。 ・問題解決のためのグループでの取り組み(ブレインストーミングなどの議論)に、積極的に参画しているか。 ・情報を効果的に分析し、まとめる方法について理解したか。	○	○	○	10
	2 情報社会における法規と制度	1. 情報の管理と保護 2. 知的財産権と産業財産権 3. 著作権	・個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利(プライバシー権、肖像権、パブリシティ権)について学習できたか。 ・知的財産権の概念(知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成)について学習できたか。 ・知的財産権の問題に関し、自らWebサイトで調べるなど、主体的・意欲的に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	定期考査						0

2 学 期	3 情報セキュリティと個人が行う対策	1. 認証とパスワード 2. 情報の暗号化 3. コンピュータウイルスと対策	・個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について理解したか。 ・安全性の高いパスワードとその管理について理解したか。 ・ネットワーク上での暗号化通信や無線LANでの暗号化対策について理解したか。 ・コンピュータウイルスなどマルウェアの概要と対策について理解したか。	○	○	○	6
	4 メディア	1. メディアの機能と特性 2. メディアリテラシー	・メディアの機能と特性について理解したか。 ・メディアの分類や情報メディア、表現メディア、伝達メディアの特性について理解したか。 ・メディアリテラシーやクロスチェックの考え方について理解したか。 ・さまざまな情報メディアの特徴について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	5 コミュニケーション	1. 効果的なコミュニケーション 2. インターネット上のコミュニケーション	・コミュニケーションの定義、手段、形態について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションの種類と特徴について理解したか。 ・インターネット上のコミュニケーションのメリットとデメリット(即時性、利便性、保存性、匿名)について理解したか。	○	○	○	8
	6 情報デザインと表現の工夫	1. 情報デザインの考え方 2. 表現の工夫	・デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて理解したか。 ・身のまわりにある、文字や音声、図やイラストによる情報で使われている工夫について理解したか。	○	○	○	4
	定期考査						0
3 学 期	7 情報の表し方	1. デジタル表現の特徴 2. 2進数と情報量	・アナログとデジタル、デジタルデータの特徴(情報の正確な再現・情報の加工の容易さなど)について理解したか。 ・情報量、ビット、バイト、2進法、2進数について理解したか。	○	○	○	5
	8 コンピュータでのデジタル表現	1. 数値の表現 2. 文字のデジタル表現 3. 音の表現 4. 画像の表現 5. 動画の表現とファイル形式	・コンピュータ内部での数値(2進数, 16進数)の表現について理解したか。 ・コンピュータにおける文字コード、文字のデジタル表現について理解したか。 ・音のデジタル化、周波数(ヘルツ)、標本化・量子化・符号化、標本化周期や標本化周波数について理解したか。 ・ファイルの種類(音・画像)について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
合計							70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

情報 科目 情報 I

教科：情報

科目：情報 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年

使用教科書：（実教出版 図説情報 I ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会における主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技術を見つける。	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を考える力を養う。	情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	1 アルゴリズムと基本構造	1 アルゴリズムとは 2 アルゴリズムの基本構造	・アルゴリズムの基本やフローチャート(流れ図)について理解したか。	○	○	○	6
	2 プログラムの基礎(1)	1 簡単なプログラムの作成(VBA) 2 プログラムと変数	・複数の画像を表示するプログラムの作成方法を理解できたか。 ・プログラムにおける変数の役割について理解したか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	3 プログラムの基礎(2)	1 順次探索 2 二分探索	・順次探索について理解したか。 ・二分探索について理解したか。	○	○	○	9
	4 プログラムの応用	1 配列とリスト 2 関数	・配列やリストを使って効率よく数値を処理できるプログラムを作る方法について理解できたか。	○	○	○	4
	定期考査						1

2 学期	5 モデル化	1 モデルとは 2 モデル化(図的モデル)	・モデル化の手順や分類について理解できたか。 ・図的モデルの表現方法, 簡単な自動販売機の動作をモデル化する方法を理解できたか。	○	○	○	6
	6 シミュレーション	1 シミュレーションとは 2 シミュレーション(確定的モデル) 3 シミュレーション(確率的モデル)	・シミュレーションの手順と注意点について理解できたか。 ・確定的モデル, 確率的モデルをシミュレーションするための手順について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
	7 データの活用	1 データの収集 2 データの分析	・データの種類と, データの活用の手順や方法について理解できたか。 ・データの尺度水準, ビッグデータとデータマイニングについて理解できたか。 ・散布図と箱ひげ図によるデータ分析の方法について理解できたか。	○	○	○	8
	8 ネットワークの仕組み	1 ネットワークの構成とプロトコル 2 インターネットの仕組み	・ネットワークとその構成について理解できたか。 ・インターネットに接続する機器の概要について理解できたか。 ・通信規約の役割について理解できたか。 ・IPアドレスや, ドメイン名, URL, DHCPサーバ, DNS, HTMLについて理解できたか。	○	○	○	4
定期考査						1	
3 学期	9 情報システムとサービス	1 さまざまな情報システム 2 データの流れと情報システム 3 データベースとデータモデル	・インターネットで提供されるサービスとその活用について理解できたか。 ・GPSを使ったサービスについて理解できたか。 ・データベースの意味と役割, リレーショナル型データベースの機能について理解できたか。 ・データモデルの違いと活用例について理解できたか。	○	○	○	4
	10 情報セキュリティ	1 情報セキュリティと対策 2 暗号技術	・情報の安全を守るために, 組織が行っている情報セキュリティ対策について理解できたか。 ・情報セキュリティの3要素(機密性, 安全性, 可用性)について理解できたか。 ・情報セキュリティを確保するための対策(ファイアウォールの意味やアクセス制御など)について理解できたか。 ・暗号化を活用した技術について理解できたか。 ・暗号化の技術とデジタル署名について理解できたか。 ・デジタル署名や認証局について理解できたか。	○	○	○	8
	定期考査						1
合計							70

豊島 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会

科目：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組

使用教科書：（「人間と社会」改訂版）

教科 人間と社会

の目標：

- 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実にもとらされ、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実にもとらされ、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協動的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を含め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	(1) 「人間と社会」における演習の内容 ア 主として自分自身や人との関わりに関すること ・スマートフォンを利用した高度な情報化社会に生きていることを自覚し遵法正精神、公德心に関する道徳的価値を深め、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	<演習>第6章 スマートフォン時代のコミュニケーション ①新しいメディア時代の生き方について学ぶ、②スマートフォン時代を生きることについて議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 インターネットやスマートフォンの利用状況、その活用のメリットや課題などの情報を読み取り、整理・分析し、理解している。学んだことを生かして話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 遵法精神、公德心について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 オ 環境保全を図る活動 ・校外での活動で生徒相互の交流を深め、親睦を図る ・集団行動をすることで生活の規律を学ぶ	<体験活動>お台場海浜公園 環境美化活動 ・お台場海浜公園の清掃活動 ・事前学習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 お台場海浜公園周辺などの情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 体験活動における課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・他者と協働しながらよりよい人間関係を築くことについて考え、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会の一員として主体的に行動し、チームで力を発揮する能力を育成する。	<演習>第8章 チームを動かす力 ①チームで活動することについて考える、②チームで活動する意義について考え、議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 リーダーシップの発揮の仕方等について、情報を整理し、理解している。解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 社会参画、公共の精神について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 エ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 ・学級で協力してオリジナルな作品を作り上げ、文化的な催しを追求する。	<体験活動>文化祭（準備含む） ・学級単位の文化的催し ・事前準備 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 文化的催しに関する情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 文化的催しにおける課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4	

2 学 期	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・ワーク・ライフ・バランスについて理解し、相互理解に関する道徳的価値を深め、自分自身、そして共に生きる人たちが求める生き方を互いに理解し合い、尊重する態度を育成する。</p>	<p>&lt;演習&gt;第9章 ワーク・ライフ・バランス ①ワーク・ライフ・バランスについて学ぶ、②ワーク・ライフ・バランスを実現するために大切な考え方について議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ワーク・ライフ・バランスについて示されたグラフなどから情報を読み取り、整理・分析し、理解している。解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 相互理解について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>(2) 「人間と社会」における体験活動の内容 オ 環境保全を図る活動 ・校外での活動で生徒相互の交流を深め、親睦を図る ・集団行動をすることで生活の規律を学ぶ</p>	<p>&lt;体験活動&gt;上野恩賜公園 清掃活動 ・上野恩賜公園の清掃活動 ・事前学習 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 上野恩賜公園周辺などの情報を整理・分析し、理解するとともに、自己に必要な正しい情報を収集することができる。 【思考・判断・表現】 体験活動における課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自らの考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・社会や環境などに配慮した消費について考え、公正、公平、社会正義に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。</p>	<p>&lt;演習&gt;第11章 消費者市民社会 ①消費者が参加する社会とは、②消費行動について議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 社会や環境に配慮した消費について考え、児童労働や低賃金労働問題、環境汚染、持続可能な社会の実現に向けた世界の動きなどを理解している。自分の消費活動に責任をもつことができる。 【思考・判断・表現】 公正、公平、社会正義について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	2
3 学 期	<p>(1) 「人間と社会」における演習の内容 イ 主として集団や社会との関わりに関すること ・主権者・成年としての心構え・自覚を養い、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。</p>	<p>&lt;演習&gt;第19章 主権者・成年としての権利と責任 ①主権者・成年になることについて学ぶ、②主権者・成年としての自覚を養うことについて議論する、③ケーススタディ、④チャレンジ ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 「10代の国政選挙投票率の推移」について示されたグラフなどから情報を読み取り、整理・分析し、理解している。学んだことを生かして話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりすることができる。 【思考・判断・表現】 社会参画、公共の精神について、思考し、判断するとともに、自己の考えを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会を構成する当事者として社会の中に存在する様々な課題に向き合い、社会の一員として積極的に課題解決に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>&lt;演習&gt;探究活動 ①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ、表現 ・「人間と社会」改訂版 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。 【思考・判断・表現】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 探究に主体的・協働的に取り組もうとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>	○	○	○	7
合計							35

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

総合的な探求の時間 科目 総合的な探求の時間

教科： 総合的な探求の時間

科目： 総合的な探求の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組

使用教科書：（ 無し ）

教科 総合的な探求の時間

の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探求の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、類別して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用</li> <li>全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。</li> <li>生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。</li> <li>図書館やパソコン教室も利用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。</li> <li>必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。</li> <li>探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。</li> <li>自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	15
2 学期	<p>B 単元 SDGs探求講座における探求学習</p> <p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用</li> <li>業者委託による、グループ学習を実施する。</li> <li>生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。</li> <li>図書館やパソコン教室も利用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	20

3 学 期	地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を養う。							
								合計 35

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

総合的な探求の時間 科目 総合的な探求の時間

教科： 総合的な探求の時間

科目： 総合的な探求の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

使用教科書：（ 無し ）

教科 総合的な探求の時間

の目標：

【知識及び技能】

探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探求の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>A 単元 探求学習「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」</p> <p>【知識及び技能】 生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集する力を身に付ける。 ・必要な情報を収集し、類別して蓄積できる力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとする態度を養う。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用</li> <li>全教師で指導にあたり、グループ学習を指導する。</li> <li>生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。</li> <li>図書館やパソコン教室も利用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・生徒自身が「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集できる。 ・必要な情報を収集し、類別して蓄積できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究的な活動を通して自己を見つめ、将来を考え、自分の個性や特徴に向き合おうとしている。 ・探究的な活動を通して、異なる多様な意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 ・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
2 学期	<p>B 単元 SDGs探求講座における探求学習</p> <p>【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人1台端末の活用</li> <li>業者委託による、グループ学習を実施する。</li> <li>生徒のタブレットを、情報の収集、写真撮影などに利用する。</li> <li>図書館やパソコン教室も利用する。</li> </ul>	<p>【知識・技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な思考方法、情報処理能力、言語能力（聞く・話す・書く）を身に付けるとともに、学ぶ意義を理解すること。地域や社会のよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、こと、自然と自分自身との関わりから問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を整理・分析して、「自分の言葉で」「わかりやすく」まとめ、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。</p>	○	○	○	20

3 学 期	地域や社会の人、もの、こと、自然についての探究活動に自分の意思で真摯に向き合い、解決に向け取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を養う。							
								合計 35

年間授業計画

豊島高等学校 令和6年度 教科 総合的な探求の時間 年間授業計画

教科： 総合的な探求の時間 単位数： 1単位

対象学年組： 第4学年A組

使用教科書：（無し）

使用教材：（無し）

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な探求の時間」とは</li> <li>・「私の好きなもの」「私の得意なこと」「私が気になっていること」などの中から探求すべき課題を自分の力で見つける</li> </ul>	総合的な探求の時間で学習することを理解する。	観察	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「探求学習」とは</li> <li>・課題を決める</li> <li>・探求学習計画シートを書かせる</li> <li>・担当教諭と相談する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究的な活動を通して自己を見つめ, 将来を考え, 自分の個性や特徴に向き合おうとする態度を養う。</li> </ul>	観察 ワークシートの記述	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネット、新聞や文献を参照する。</li> <li>・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。</li> <li>・調べたことに基づき探求し、制作を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</li> </ul>	観察 ポスター作成内容	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネット、新聞や文献を参照する。</li> <li>・データの集計や分析、アンケート調査などを行う。</li> <li>・調べたことに基づき探求し、制作を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意思で真摯に課題に向き合い、解決に向けて探究的な活動に取り組もうとする態度を養う。</li> </ul>	観察 ポスター作成内容	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化祭に向けた展示準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成品を効果的に展示する方法を模索し、積極的に取り組むことができる。</li> </ul>	観察	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDGsの17の目標」とは</li> <li>・講座の流れについてのガイダンスを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDGsの17の目標」を参考に、講座の流れを理解する。</li> </ul>	観察	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに係る講演、ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。</li> </ul>	観察  ワークシートの記述	5

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに係る講演、ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。</li> </ul>	観察  ワークシートの記述	2

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsに係る講演、ワークショップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組の中で考えた課題を解決するための具体策を実践し、成果及び課題について提案する。</li> </ul>	観察  ワークシートの記述	3

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りや探究を通して学んだことを問いかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsに関連する探究を通して学んだことをまとめる。</li> </ul>	観察	4

	指導内容	科目総合的な探求の時間の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				